

Ⅲ. 授業科目概要 (シラバス)

# 基礎分野

## 基礎分野（科学的思考の基盤）

授業科目	情報科学		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 2学期		
科目目標	統計の基礎的概念を理解し、統計的な見方、考え方を学び、保健統計の意味を正確に理解できる力を養うと共に、看護研究における情報の処理分析ができる基礎的能力を身につける		
授業内容		備考	
<p>1. 情報科学とは何か</p> <p>1) 情報科学</p> <p>2) 倫理的課題</p> <p>2. 統計学の基礎知識</p> <p>1) 統計的推測の考え方</p> <p>2) データの整理</p> <p>3) 平均値に関する推測</p> <p>4) 比率に関する推測</p> <p>5) 相関係数に関する推測</p> <p>6) 多変量解析</p> <p>3. コンピュータによるデータ処理</p> <p>1) エクセルの基本操作</p> <p>2) 統計処理</p> <p>3) 表・図の作成</p> <p>4. 保健統計の見方・考え方</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>論理的思考</p> <p>&lt;演習項目&gt;</p> <p>1. 統計処理</p> <p>2. 表・図の作成</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	講師資料		

授業科目	論理的思考		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	1. 事実を正しく理解し、解釈し、判断に基づいて考えを表現できる論理的思考を身につける。 2. 看護を系統づけた思考で整理することができる基礎的能力を身につける		
授業内容		備考	
1. 論理的思考とは 2. 思考と存在の関係について 3. 三段論法について 4. 形式論理学の基本法則について 5. 条件法について 6. ベン図について 7. 記号論理学について弁証法論理について 8. ド・モルガンの法則について 9. 弁証法論理について 10. 詭弁論理について 11. 論証図と反論法 12. 論理的思考の実践 1) MECEとKJ法 2) 小論文の作成法 3) 報告書の書き方		<関連科目> 文学 情報科学  <演習項目> 1. 条件法 2. KJ法 3. 小論文	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	看護学生のための科学的作文レッスン 医学書院 講師資料		

授業科目	教育学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	人間形成における教育の役割・機能を理解し、看護における教育的機能を果たすために必要な基礎的知識を身につけるとともに、自己学習力の必要性が理解できる		
授業内容			備考
1. 教育とは何か：成長と生成 2. 遺伝と環境 3. 専門家と官僚組織：教育の社会的機能 4. 能力主義社会とは何か？ 5. 障がいのある人々を考える：能力の共有化 6. 人間の主体性とは何か？ 7. 教育実践から学ぶ：美的な感性と技術論の間 8. 学校に行かない子どもたち：不登校 9. いじめを考える 10. 権力空間としての学校 11. 親はモンスターじゃない 12. コミュニケーションの裏側を考える 13. ケアリングと教育 14. カウンセリング・マインドとは？ 15. ケアの倫理と教育：語りえぬものを語る			<関連科目> 人間関係論 心理学 論理的思考 社会学
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	教育学：メヂカルフレンド社		

授業科目	医学・看護英語		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	国際化に対応するために、医療・看護の現場で使われる基礎的英単語を理解するとともに、日常的な会話及び臨床現場での英会話能力を身につける。		
授業内容		備考	
1. Greeting 2. How to communicate 3. Actions in English 4. What is a nurse, Doctor conversation 5. Nightingale Report 6. Conversation		<関連科目> 解剖生理学 基礎看護学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	講師資料		

授業科目	英語論文講読		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
科目目標	英文文献や資料を読み取る力を身につけ看護について国際的視野に立って専門的知識を得ることができる能力を身につける		
授業内容		備考	
1. Concepts about Humans and Human Functions 2. Current Topics in Health and Medicine 3. Roles of Health Care Personnel 4. Assessing and Supporting Health 5. Current Topics in Therapeutics 6. Ethical and Legal Concerns		<関連科目> 医学・看護英語	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	英語で学ぶ医療と健康 新訂版：朝日出版社		

## 基礎分野（人間と生活・社会の理解）

授業科目	社会学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	社会と人間の関わりを学び、社会的存在としての人の理解を深めるとともに、社会の変化に伴う人間の価値観や生活様式、家族機能の変化を知り、社会環境と人間の相互作用を理解できる		
授業内容			備考
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会のなかの人間               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会学とは何か</li> </ol> </li> <li>2. 社会の変化が人に及ぼす影響               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 現代社会をキャッチする</li> <li>2) 学校から職業へ</li> <li>3) 教育と社会学</li> </ol> </li> <li>3. 現代社会の構造と特徴               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 氾濫する親密性</li> <li>2) 親密性の本性とその行方</li> </ol> </li> <li>4. 現代社会における家族の構造と機能               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 豊かな社会と不平等</li> <li>2) 豊かな社会と階層社会学</li> </ol> </li> <li>5. ジェンダーからみた現代社会               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ジェンダーと社会</li> </ol> </li> <li>6. 現代社会における諸問題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) リスク社会の克服</li> <li>2) 21世紀社会における幸福</li> </ol> </li> </ol>			<関連科目> 人間関係論 倫理学 教育学
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	社会学ドリル この理不尽な世界の片隅で：新曜社		

授業科目	心理学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	人間の心理や行動の基礎を学び、人間の理解を深めるとともに他者を理解するために必要となる能力を身につける		
授業内容			備考
1. 科学的人間理解と共感的理解 2. 認知からの人間理 3. 行動からの人間理解 4. 発達からの人間理解 5. パーソナリティからの人間理解 6. 人間関係からの人間理解 7. 臨床心理からの人間理解			<関連科目> 人間関係論 教育学
評価の方法	試験（客観テスト）		
テキスト	心理学：メヂカルフレンド社		



授業科目	倫理学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	2年次 1学期		
科目目標	倫理学の古典や人間らしいあり方をめぐって論争がおこっている生命倫理の問題を取り上げ、人間らしさとは何かを考える		
授業内容		備考	
1. 倫理学の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 一致としての善</li> <li>2) 黄金律</li> </ul> 2. 西田幾多郎の人間論 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 主客合一としての人間存在</li> </ul> 3. 生命倫理 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 安楽死問題</li> <li>2) インフォームドコンセント</li> <li>3) 患者の自己決定権</li> <li>4) 死の自己決定権</li> <li>5) 共同体主義的人間観</li> <li>6) 個人主義的人間観</li> </ul> 4. 和辻哲郎の人間論 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 問柄としての人間存在</li> </ul> 5. 対立しあう人間像の統一		<関連科目> 論理的思考 心理学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	講師資料		

授業科目	人間関係論		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	1学期	
科目目標	自分自身の人間関係やコミュニケーションの傾向とそれらが他者に及ぼす影響を理解し、人間関係を形成する基礎的な能力（対話力・協働力・解決力）を養う		
授業内容		備考	
1. 人間存在と人間関係 1) 人間関係のとらえ方の次元 2) 人間関係の基本的意義  2. 社会的役割と人間関係 1) 社会的相互作用 (1) 自己理解、他者理解 (2) 自己開示 2) 社会的役割  3. コミュニケーション 1) コミュニケーションの基本概念と構造 2) コミュニケーションの障害 3) 人間関係形成の基本的な力  4. 集団のダイナミクス 1) 集団の働き 2) グループワークと集団の生産性 3) コンセンサスによる意志決定  5. リーダーシップ 1) 小集団とリーダーシップ 2) リーダーシップと小集団のダイナミクス		<関連科目> 心理学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	人間関係論:医学書院		

授業科目	異文化関係論		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 2学期		
科目目標	異なる考え方や異なる文化をもつ人々を理解し、多文化共生社会における課題を考える		
授業内容		備考	
1. コミュニケーションのプロセス、人物Aの頭の中 2. コミュニケーションの定義と意味、3つのステージ 3. 自己開示の研究、バーガーらの調査、自己開示のルール、自己開示の目的 4. 人間関係の変化と交わす話題 5. ICWと異文化学習 6. 初対面のコミュニケーションと個人のコミュニケーション能力 7. 異文化コミュニケーション能力（動機、知識、技能）		<関連科目> 人間関係論 社会学	
評価の方法	筆記試験70% 確認チェック30%		
テキスト	グローバル社会のヒューマンコミュニケーション:八朔社		

授業科目	生活科学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	人間の生活・動きを科学的に思考するとともに、生活の中にある物理の基本法則を学び、看護に必要な知識を身につける		
授業内容		備考	
1. 力 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 力の表現</li> <li>2) 力の単位</li> <li>3) 力の計算</li> <li>4) 力のつり合い</li> </ul> 2. トルク <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 力とトルク</li> <li>2) トルクのつり合いと静止の条件</li> <li>3) てこの原理</li> <li>4) 身体におけるトルク</li> </ul> 3. 人体の力学（ボディメカニクス） <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 筋肉の収縮</li> <li>2) 重いものを動かすには</li> <li>3) 摩擦</li> </ul> 4. 圧力 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 力と圧力</li> <li>2) 大気圧と水圧</li> <li>3) パスカルの原理とサイフォン・点滴の物理</li> </ul> 5. 循環器の物理 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 圧力と流量</li> <li>2) 血圧</li> <li>3) 収縮期圧と弛緩期圧</li> <li>4) 血圧の測定</li> </ul> 6. 体温調節の物理 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 熱と温度</li> <li>2) 熱容量と熱伝導</li> <li>3) 体温測定 体温の調節</li> </ul> 7. 放射線 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 放射線と放射能</li> <li>2) 放射線の種類</li> <li>3) 放射線の性質</li> <li>4) 放射線の単位</li> <li>5) 放射線の利用</li> </ul>		<関連科目> 基礎看護学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	完全版 ベッドサイドを科学する:学研		

授業科目	文学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次	1学期	
科目目標	文学を通して文の読み取り方、書き方について理解すると共に、文学への理解を深め、感性豊かな人間性を養う。		
授業内容			備考
1. ガイダンス（文学と文章表現について） 2. 日本語の特徴について 3. 文学の多様性（その一 韻文） 4. 文学の多様性（その二 散文） 5. 文学と比喻（レトリック） 6. 文体論 7. 名文論 8. 文学と歴史 9. 文学とその舞台 10. 文学と人生 11. 文学と映画 12. 文学と漫画 13. 文学と思想（翻訳文学その一） 14. 文学と宗教（翻訳文学その二）			<関連科目> 基礎看護学 論理的思考
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	講師資料		

授業科目	保健体育		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	1学期	
科目目標	1. 運動と健康の関連を理解し、体力を増強し、健全な心身の発達を図る。 2. 集団でのチームワーク、リーダーシップを身につける。		
授業内容		備考	
1. 運動と健康 1) 運動の意義 2) 運動と健康の関連  2. レクリエーション 1) レクリエーションの意義 2) レクリエーションゲーム  3. 実技		<関連科目> 人間関係論 栄養学	
評価の方法	実技試験、筆記、レポート等		
テキスト	講師資料		

# 專門基礎分野

## 専門基礎分野（人体の構造と機能）

授業科目	解剖生理学 I		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	人体の構造や機能を細胞レベルで学び、その成長段階と人体の生命維持機能および生殖機能を理解する		
	授業内容	備考	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構造と機能からみた人体 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 構造からみた人体</li> <li>2) 機能からみた人体</li> </ol> </li> <li>2. 人体の素材としての細胞・組織 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 細胞の構造</li> <li>2) 分化した細胞がつくる組織</li> </ol> </li> <li>3. 外部環境からの防御機構 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 非特異的防御機構</li> <li>2) 特異的防御機構</li> <li>3) 体温とその調節</li> </ol> </li> <li>4. 体液とホメオスタシス <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 体液</li> <li>2) 内部環境とホメオスタシス</li> <li>3) サーカディアンリズム</li> </ol> </li> <li>5. 生殖・発生と老化のしくみ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 男性生殖器</li> <li>2) 女性生殖器</li> <li>3) 受精と胎児の発生</li> <li>4) 成長と老化</li> </ol> </li> <li>6. 人間の死 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 死の三徴候</li> <li>2) 死亡判定</li> <li>3) 脳死</li> </ol> </li> </ol>	<p>&lt;関連科目&gt; 生化学 疾病治療論 医療概論</p> <p>・解剖模型、モデル等を活用し、イメージ化を図る</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	講師資料 解剖生理学：医学書院、解剖生理学ワークブック：医学書院 からだの地図帳：講談社 病理学：医学書院		



授業科目	解剖生理学Ⅱ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	人体の循環器系、泌尿器系、血液の構造や機能を系統的に学ぶ		
授業内容		備考	
<p>1. 循環器系（血液の循環とその調節）</p> <p>1) 心臓の構造</p> <p>2) 心臓の機能（心筋、刺激伝導系、拍出機能）</p> <p>3) 血管の構造（動脈系と静脈系、肺循環と体循環）</p> <p>4) 血液の循環とその調節（冠循環、脳循環、脈拍、血圧）</p> <p>5) 胎児の血液循環</p> <p>6) リンパ管の構造と機能</p> <p>2. 泌尿器系</p> <p>1) 尿の生成</p> <p>（1）腎臓の構造</p> <p>（2）尿生成のメカニズム（濾過、再吸収と分泌）</p> <p>（3）腎臓から分泌される生理活性物質</p> <p>2) 尿の貯蔵と排尿</p> <p>（1）排尿路の構造（尿管、膀胱、尿道）</p> <p>（2）尿の貯蔵と排尿</p> <p>3) 細胞外液の調節</p> <p>3. 血液の成分と機能</p> <p>1) 血液のはたらき</p> <p>2) 止血機能</p> <p>3) 血液型</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>生化学</p> <p>疾病治療論</p> <p>看護学概論</p> <p>臨床看護総論</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>講師資料</p> <p>解剖生理学：医学書院、解剖生理学ワークブック：医学書院</p> <p>からだの地図帳：講談社</p>		

授業科目	解剖生理学Ⅲ			
教育方法	講義		単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	1学期		
科目目標	人体の消化器系、呼吸器系、内臓調整、内分泌系の構造や機能を系統的に学ぶ			
授業内容				備考
<p>1. 消化器系の構造と機能</p> <p>1) 消化器系の構造と運動</p> <p>2) 嚥下</p> <p>(1) 咽頭の構造と機能</p> <p>(2) 食道の構造と機能</p> <p>3) 消化と吸収</p> <p>(1) 腹部消化管の構造と機能</p> <p>(2) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能</p> <p>(3) 腹膜と腸間膜</p> <p>2. 呼吸器系</p> <p>1) 呼吸器系の構造</p> <p>2) 呼吸器系の機能</p> <p>(1) 呼吸運動</p> <p>(2) ガス交換</p> <p>(3) 酸素・二酸化炭素の運搬</p> <p>(4) 発声</p> <p>3. 内臓機能の調整と内分泌系の構造と機能</p> <p>1) 自律神経による調整</p> <p>2) 内分泌の構造と機能</p> <p>3) ホルモンの種類と作用</p> <p>4) ホルモン分泌の調整</p>				<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>生化学</p> <p>疾病治療論</p>
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	解剖生理学：医学書院、解剖生理学ワークブック：医学書院 からだの地図帳：講談社			

授業科目	解剖生理学Ⅳ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	1学期	
科目目標	人体の骨筋系、脳・神経系、感覚器系の構造や機能を系統的に学ぶ		
授業内容			備考
1. 骨・筋肉系の構造と機能 1) 骨の構造と機能 2) 関節の構造と機能 3) 骨格筋の構造と機能 4) 姿勢(体位と構え)  2. 脳、神経系の構造と機能 1) 神経組織の構造と機能 2) 中枢神経系 3) 末梢神経系 4) 脳の高次機能  3. 感覚器系の構造と機能 1) 耳の構造と聴覚・平衡覚 2) 鼻の構造と嗅覚 3) 眼の構造と視覚、色覚 4) 歯・口腔の構造と味覚(う歯、歯周病含む) 5) 皮膚の構造と体性感覚 6) 内臓感覚			<関連科目> 生化学 疾病治療論
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	解剖生理学：医学書院、解剖生理学ワークブック：医学書院 成人看護学：医学書院 「耳鼻咽喉」「眼」「歯・口腔」「皮膚」 からだの地図帳：講談社		

授業科目	生化学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	1学期	
科目目標	1. 化学の基礎的知識を身につける 2. 人体の構成部分である化学物質の組成、その分布および代謝について学び、生命現象を化学的側面から理解するために必要な知識を身に付ける		
授業内容		備考	
1. 生化学を学ぶための基礎知識 1) 生体をつくる元素 2) 浸透圧 3) 酸と塩基  2. 生体を構成する物質 1) 糖質 2) 脂質 3) タンパク質 4) 核酸 5) 水と無機質  3. 生体内の物質代謝 1) 代謝のあらまし 2) 酵素 3) ビタミンと補酵素 4) 糖質代謝 5) 脂質代謝 6) タンパク質代謝 7) 核酸代謝  4. 遺伝情報		<関連科目> 解剖生理学 栄養学 薬理学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	生化学：医学書院 まるわかり！基礎化学：南山堂		

## 専門基礎分野（疾病の成り立ちと回復の促進）

授業科目	栄養学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 2学期		
科目目標	1. 人間の健康にとっての栄養の意義を理解し、健康的な食生活を送るために必要な栄養に関する基礎的知識を学ぶ 2. 病気の治療としての食事療法の意義、各種治療食の基本を理解する		
授業内容		備考	
1. 健康と栄養 1) 栄養とは 2) 健康における栄養の意義  2. 食物と栄養 1) 栄養素と栄養価 2) 各種栄養素の栄養学的意義 3) 日本人の食事摂取基準 4) エネルギー出納とその測定法  3. 健康的な食生活 1) 健康と食生活 2) 健康的な食生活の献立作成  4. 食事療法 1) 食事療法の意義  5. 疾患別治療食 1) 消化器疾患の治療食 2) 循環器疾患の治療食 3) 腎疾患の治療食 4) 栄養代謝障害（糖尿病・痛風・脂質異常症）の治療食 5) 貧血の治療食 6) 手術前後の食事  6. 経管栄養法  7. NSTチームと活動		<関連科目> 基礎看護学 生化学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	臨床栄養学:メディカ出版 糖尿病食事療法のための食品交換表:日本糖尿病学会 臨床看護総論:医学書院		

授業科目	微生物学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解すると共に、感染症や伝染病の要因として重要な病原微生物の特徴を理解し、その予防と対処について基礎的知識を身につける		
授業内容			備考
1. 微生物学の基礎的知識 1) 微生物の種類 2) 感染のしくみと人体の感染防御機構  2. 微生物の構造と主な性質 1) 細菌の構造と主な性質 2) 真菌の構造と主な性質 3) 原虫の構造と主な性質 4) ウイルスの構造と主な性質  3. 主な病原微生物 1) 病原細菌と細菌感染症 2) 病原真菌と真菌感染症 3) 病原原虫と原虫感染症 4) 主なウイルスとウイルス感染症			<関連科目> 基礎看護学 生化学 薬理学
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	微生物学:医学書院		

授業科目	臨床検査		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 2学期		
科目目標	病気の診断・治療法の方針の選択や、病状や予後の判断の資料となる臨床検査の基礎知識を身につける		
授業内容		備考	
1. 臨床検査の基本 2. 一般検査 1) 尿検査 2) 糞便検査 3) 髄液検査 4) 関節液・体腔液・消化液の検査 3. 血液検査 1) 末梢血液検査・末梢血液像 2) 血液凝固・止血検査 3) 骨髓検査 4. 臨床化学検査 1) 糖尿病関連検査 2) 高脂血症関連検査 3) 肝機能検査 4) 膵機能検査 5) 腎機能検査 6) 電解質検査 7) 尿酸検査 8) ビタミンの検査 5. 免疫血清検査、輸血検査 1) 免疫血清検査 2) 炎症・感染症関連の検査 3) 自己免疫関連の検査 4) 免疫細胞関連の検査 5) 腫瘍関連抗原の検査 6) 輸血検査 6. ホルモン検査 7. 微生物検査 8. 生理機能検査 1) 心電図 2) 呼吸機能検査 3) 超音波検査 4) 脳波検査 9. 病理学的検査		<関連科目> 微生物学 疾病治療総論 疾病治療論	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	臨床検査:医学書院		

授業科目	薬理学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	1. 薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び薬物の管理について理解する 2. 疾病に対する治療薬の種類と作用機序、副作用について医療事故防止と併せて理解し、薬物療法を受ける患者の看護を展開するに必要な知識を身につける		
授業内容			備考
1. 薬理学の基礎的知識 1) 薬物の分類 2) 薬物療法の目的 3) 薬物動態と薬効 4) 薬理作用と副作用（有害事象）  2. 薬物の取扱いと管理  3. 主な治療薬等の種類と特徴 1) 抗感染症薬 2) 抗悪性腫瘍薬 3) 免疫治療薬 4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5) 末梢での神経活動に作用する薬物 6) 中枢神経系に作用する薬物 7) 心臓・血管系に作用する薬物 8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 9) 物質代謝に作用する薬物 10) 救急の際に使用される薬物 11) 皮膚科用薬・眼科用薬 12) 漢方薬 13) 輸液製剤・輸血剤			<関連科目> 生化学 疾病治療総論 疾病治療論
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	薬理学:医学書院		



授業科目	疾病治療総論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	1. 病因と病変の特徴および疾病の成り立ちと障害について、基礎的な内容を理解する 2. 臨床で行われる疾病の治療として共通する療法について理解する		
授業内容		備考	
1. 病理学総論 1) 医学と病理学 2) 細胞・組織の障害 3) 物質代謝障害と疾患 4) 循環障害と疾患 5) 老化と死 6) 炎症 7) 感染症 8) 免疫異常と自己免疫疾患 9) 腫瘍  2. 放射線療法 1) 放射線検査の概要と見方 2) 放射線治療の目的 3) 放射線療法の適応と進め方 4) 放射線障害と防御  3. 内視鏡的治療 1) 内視鏡治療の目的 2) 消化管出血に対する止血術 3) 内視鏡的食道・胃静脈瘤治療 4) 消化管狭窄に対する治療 5) 経皮的内視鏡胃瘻増設術 6) 内視鏡による外科手術  4. 外科的治療 1) 外科的治療の目的と意義 2) 外科手術手技と処置の基本 3) 麻酔法 4) 手術侵襲・生体反応  5. 疼痛コントロール		<関連科目> 微生物学 薬理学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	病理学：医学書院 治療法概説：メヂカルフレンド社 臨床外科看護総論：医学書院		

授業科目	疾病治療論 I		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	循環器系、呼吸器系、感染症、血液・造血器系の疾患と症状、障害及び病態・検査・治療について理解する		
授業内容		備考	
<p>1. 循環器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 先天性心疾患 (2) 虚血性心疾患</p> <p>(3) 心筋症 (4) 心不全</p> <p>(5) 不整脈 (6) 心内膜炎と弁膜疾患</p> <p>(7) 脂質異常症 (8) 高血圧症</p> <p>(9) 動脈硬化症 (10) 閉塞性動脈硬化症</p> <p>(11) 大動脈瘤</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 心臓カテーテル検査 (2) ペースメーカー</p> <p>(3) 降圧・利尿薬、抗不整脈薬、抗狭心症薬、抗凝固薬</p> <p>(4) 経皮的冠動脈形成術 (5) 開心術</p> <p>2. 呼吸器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 気道・肺の炎症 (2) 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患</p> <p>(3) 肺循環障害(肺梗塞、肺塞栓症)</p> <p>(4) 肺の腫瘍 (5) 肺結核</p> <p>(6) 気胸</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 血液ガス (2) 気管支鏡・造影検査</p> <p>(3) 胸腔穿刺 (4) 抗アレルギー薬、気管支拡張薬</p> <p>(5) 肺切除術</p> <p>3. 血液・造血系の疾患</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 貧血 (2) 白血球減少症</p> <p>(3) 造血器の腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 骨髄穿刺 (2) 骨髄移植、肝細胞移植術</p> <p>4. 感染を原因とする疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) MRSA感染症 (2) HIV感染症</p> <p>(3) インフルエンザ (4) 腸管出血性大腸菌感染症(0-157)</p> <p>(5) EBV(伝染性単核症) (6) ウィルス性胃腸炎(ノロウイルス)</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 抗ウイルス治療</p> <p>(2) 免疫機能検査</p> <p>(3) ワクチン接種(任意接種)(小児期定期接種以外)</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療総論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>成人看護学:医学書院</p> <p>「循環器」「呼吸器」「アレルギー・膠原病・感染症」「血液・造血器」</p>		

授業科目	疾病治療論Ⅱ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	消化器系、女性生殖器系、脳・神経系の疾患と症状、障害及び病態・検査・治療について理解する		
授業内容			備考
<p>1. 消化器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 消化管の炎症と潰瘍 (2) 消化管の腫瘍</p> <p>(3) イレウス (4) 排便の障害</p> <p>(5) 肝・胆・膵の炎症 (6) 肝硬変、肝不全</p> <p>(7) 肝・胆・膵の腫瘍 (8) 胆汁代謝・排泄障害</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 消化管内視鏡検査 (2) 造影検査</p> <p>(3) 腹水穿刺 (4) 肝生検</p> <p>(5) 胆嚢摘出術、胃切除術、膵臓切除術、腸切除術、肝切除術</p> <p>(6) 食道再建術 (7) 食道静脈硬化療法</p> <p>(8) ストーマ造設 (9) 胆管ドレナージ</p> <p>(10) 肝臓動脈塞栓術 (11) インターフェロン療法</p> <p>2. 女性生殖器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 女性生殖器の疾患 (子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫)</p> <p>(2) 乳腺の疾患 (乳腺炎、乳腺症)</p> <p>(3) 腫瘍 (乳がん、子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん)</p> <p>(4) 生殖機能障害 (月経異常、更年期障害)</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 内診</p> <p>(2) ホルモン療法</p> <p>(3) 乳房の触診</p> <p>3. 脳・神経系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 脳血管障害 (脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病)</p> <p>(2) 頭蓋内圧亢進症</p> <p>(3) 変性疾患 (パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症&lt;ALS&gt;)</p> <p>(4) 脱髄疾患 (多発性硬化症)</p> <p>(5) 認知症 (アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症)</p> <p>(6) 感染症 (脳炎、髄膜炎)</p> <p>(7) 頭部外傷</p> <p>(8) 機能的疾患 (てんかん) (9) 脳腫瘍</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 神経学的診察 (2) 脳血管造影</p> <p>(3) 髄液検査 (4) 誘発電位法</p> <p>(5) 脳の血腫・腫瘍・動脈瘤摘出術</p> <p>(6) 薬物療法 (7) 放射線療法</p>			<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療総論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p>
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	成人看護学：医学書院 「消化器」「女性生殖器」「脳・神経系」		

授業科目	疾病治療論Ⅲ			
教育方法	講義		単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期		
科目目標	内分泌・代謝系、免疫系、生体防御機能、腎・泌尿器系の疾患と症状、障害及び病態・検査・治療について学ぶ			
授業内容				備考
<p>1. 内分泌及び代謝系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 下垂体疾患 (クッシング症候群)</p> <p>(2) 甲状腺の疾患 (甲状腺機能亢進症・低下症、甲状腺癌)</p> <p>(3) 副甲状腺 (上皮小体) の疾患</p> <p>(4) 副腎の疾患 (クッシング症候群、褐色細胞腫)</p> <p>(5) 多発性内分泌腫瘍</p> <p>(6) 栄養バランスの不均衡による疾患 (高脂血症、痛風)</p> <p>(7) 糖尿病</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 甲状腺機能検査</p> <p>(2) ホルモン補充療法・抗ホルモン療法</p> <p>(3) インシュリン療法</p> <p>2. 自己免疫疾患・膠原病</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 関節リウマチ (2) 全身性エリテマトーデス</p> <p>(3) シェーグレン症候群 (4) ベーチェット病</p> <p>(5) 多発性筋炎</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 骨髓穿刺 (2) ステロイド療法</p> <p>3. 生体防御機能障害</p> <p>1) 皮膚・付属器および粘膜の疾患と病態</p> <p>4. 腎・泌尿器及び男性生殖器の疾患</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 腎・尿路の炎症 (2) 腎・尿路の腫瘍</p> <p>(3) 腎・尿路の通過障害 (4) 腎不全</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 腎生検 (2) 尿流動態検査、膀胱鏡検査</p> <p>(3) 内診・性機能検査 (4) 膀胱留置カテーテル</p> <p>(5) 透析療法 (6) 薬物療法、ホルモン療法</p> <p>(7) 腎臓移植術 (8) 尿路変更術</p> <p>(9) 前立腺切除術、前立腺摘出術</p>				<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療総論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p>
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	成人看護学：医学書院 「内分泌・代謝」「アレルギー・膠原病・感染症」「皮膚」 「腎・泌尿器」			



授業科目	疾病治療論Ⅴ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次	1学期	
科目目標	小児に生じやすい形態異常と疾患及び検査・治療について理解する		
授業内容			備考
1. 遺伝子・染色体の異常 1) 先天性代謝異常症      2) ダウン症候群      3) 血友病 2. 消化器疾患 1) 肥厚性幽門狭窄症      2) ヒルシュスプルング病 3) 鎖肛      4) 腸重積      5) 胆道閉鎖症 6) 乳児下痢症（ロタウイルス感染症を中心に） 7) 先天性横隔膜ヘルニア 3. 呼吸器疾患 1) 肺炎・気管支炎      2) クループ症候群 3) RSウイルス・マイコプラズマ感染症 4. 循環器疾患 1) 心房・心室中隔欠損症      2) 動脈管開存症 3) ファロー四徴症      4) 乳幼児突然死症候群 5. アレルギー疾患 1) 気管支喘息      2) アトピー性皮膚炎 6. 血液疾患・悪性腫瘍 1) 血管性紫斑病      血小板減少性紫斑病 2) 白血病（主に急性リンパ性白血病） 3) 神経芽細胞腫      4) ウィスムス腫瘍 7. 神経・筋疾患 1) 髄膜炎      脳炎      2) 水頭症      3) 熱性けいれん 4) 水頭症      二分脊椎      5) 脳性麻痺 8. 腎・泌尿器疾患 1) ネフローゼ症候群 9. 骨・関節疾患 1) 先天性股関節脱臼 10. 感染症 1) 麻疹      風疹      2) 水痘      3) 流行性耳下腺炎 4) 伝染性膿痂疹      5) ポリオ      6) ジフテリア 7) 百日咳      8) 突発性発疹      9) 手足口病 11. 免疫疾患 1) 川崎病			<関連科目> 解剖生理学 疾病治療論 薬理学 臨床検査
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	小児の疾患と看護：MCメディカ出版		

授業科目	疾病治療論Ⅵ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	2年次	1学期	
科目目標	精神障害の病理と疾患、治療および検査について理解する		
授業内容		備考	
<p>1. 主な精神疾患</p> <p>1) 統合失調症</p> <p>2) 気分障害</p> <p>3) 神経症性障害、ストレス関連障害および心身表現性障害 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害 (PTSD)、適応障害)</p> <p>4) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (摂食障害、不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群)</p> <p>5) 精神作用物質関連障害 (アルコール依存症、覚醒剤、大麻精神病)</p> <p>6) 器質性精神障害 (症状精神病)</p> <p>7) 精神遅滞</p> <p>8) 発達障害</p> <p>2. 主な検査、治療</p> <p>1) 脳波検査・脳の画像検査</p> <p>2) 心理検査</p> <p>3) 脳脊髄液検査</p> <p>4) 薬物療法</p> <p>(1) 抗精神病薬</p> <p>(2) 抗うつ薬</p> <p>(3) 気分安定薬</p> <p>(4) 抗不安薬</p> <p>(5) 睡眠薬</p> <p>(6) 抗てんかん薬</p> <p>5) 電気けいれん療法</p> <p>6) 精神療法</p> <p>7) リハビリテーション療法</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p> <p>・認知症に関しては、疾病治療論Ⅱで学ぶ</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	精神看護の基礎：医学書院		

## 専門基礎分野（健康支援と社会保障制度）

授業科目	医療概論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次	1学期	
科目目標	医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割および、保健・医療における看護の役割について理解する		
授業内容		備考	
<p>1. 保健医療の本質</p> <p>1) 医学・医療の歩み</p> <p>2) 健康と疾病</p> <p>3) 医学と医療</p> <p>2. 医と倫理</p> <p>1) 現代医療における倫理</p> <p>2) 患者の権利</p> <p>3) 脳死と臓器移植</p> <p>4) バイオエシックス</p> <p>3. 保健医療のあり方</p> <p>1) 我が国の疾病構造</p> <p>2) 我が国の医療提供体制の動向と課題</p> <p>4. 保健・医療の担い手</p> <p>1) 様々な看護職種</p> <p>2) チーム医療・チームケア</p> <p>3) プライマリケア</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>看護学概論</p> <p>保健医療論</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	現代医療論：メヂカルフレンド社		



授業科目	保健医療論		
教育方法	講義	単位・時間数	2単位 30時間
開講学期	2年次	1学期	
科目目標	医療施策の現状と課題を踏まえ、国立病院機構が担う医療における看護師の役割と実際について理解する。		
授業内容		備考	
<p>1. 我が国の医療提供体制</p> <p>1) 医療法改正</p> <p>2) 国立病院機構の役割 (医療・臨床研究・教育研修)</p> <p>3) 地域医療</p> <p>(1) 重点施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5疾病・5事業</li> <li>・静岡医療センターの特色</li> <li>救急医療・病院前との連携</li> <li>災害医療、DMATの活動</li> <li>技術演習：BLS</li> </ul> <p>(2) セーフティネット医療</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① セーフティネット医療とは</li> <li>② 結核患者の看護</li> <li>③ 重症心身障害者の看護</li> <li>④ 神経難病患者の看護、てんかん患者の看護</li> <li>⑤ 筋ジストロフィー患者の看護</li> <li>⑥ エイズ患者の看護</li> <li>⑦ 触法精神障害者の看護 (医療観察法)</li> </ol> <p>4) 臨床研究</p> <p>5) 教育研修</p> <p>(1) 看護学校教育</p> <p>(2) 継続教育 看護職員能力開発プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 専門分野研修</li> <li>② 看護管理者ステップアップ研修</li> <li>③ 教員養成研修</li> </ol> <p>2. ハンセン病療養所の現状と課題</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>医療概論</p> <p>疾病治療総論</p> <p>公衆衛生学</p> <p>在宅看護論</p> <p>・てんかんは小児期の成長発達を含めて学ぶ</p> <p>&lt;施設見学&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンセン病療養所</li> <li>・箱根病院 (筋ジス)</li> <li>・さくら病棟</li> </ul>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>現代医療論：メヂカルフレンド</p> <p>臨床外科総論：医学書院 災害看護：メヂカルフレンド社</p> <p>成人看護学「呼吸器」「血液・造血器」「脳・神経」：医学書院</p> <p>小児の疾患と看護：MCメディカ出版 精神看護の基礎 展開：医学書院</p> <p>国民衛生の動向</p>		

授業科目	公衆衛生学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次	1学期	
科目目標	地域社会で普通に暮らしている人々、あるいは各種機能集団の人々の健康を保持増進するための理論と方法を学ぶ		
授業内容		備考	
1. 公衆衛生と公衆衛生学 1) 健康の概念 2) 公衆衛生の歴史 3) 公衆衛生の方法 プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション 2. 人間の健康と環境 1) 環境の捉え方(自然環境と生活環境) 2) 環境問題 3) 住居環境の生活衛生 4) 食品保健と栄養 5) 薬物 6) 環境行政 3. 人口統計 人口構造 4. 保健統計 5. 疫学 6. 予防と健康保持増進 健康診断と受療状況 ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ 7. 保健活動 1) 地域保健 2) 母子保健 3) 成人保健 4) 高齢者保健福祉(地域包括ケアシステム) 5) 精神保健 6) 難病・障害者(児)保健福祉 7) 歯科保健 8) 学校保健 9) 産業保健 10) 災害保健・国際保健		<関連科目> 社会福祉 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護論	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	公衆衛生学：メヂカルフレンド社 国民衛生の動向		

授業科目	社会福祉		
教育方法 開講学期	講義 2年次	2学期	単位・時間数 1単位 30時間
科目目標	社会福祉の理論や制度について基礎知識を身につけ、医療と福祉の関連を認識し、対象の福祉に対するニーズに対応し、制度やサービスを活用できる能力を養う		
授業内容			備考
1. 社会福祉の概要 1) 社会福祉の組織                      2) 福祉の専門職と職種  2. 社会保障制度 1) 所得保障                                2) 医療保障  3. 高齢者福祉 1) 老人福祉                                2) ゴールドプラン 3) 老人保健法                            4) 介護保険制度 5) 老人福祉計画                        6) 高齢者虐待防止法  4. 児童福祉 1) 児童福祉法                            2) 児童憲章 3) 子育て支援（新エンゼルプラン）  5. 障害者福祉 1) 障害者の定義                        2) ノーマライゼーション 3) 障害者プラン                        4) 障害者総合支援法 5) 成年後見人制度等                    6) 障害者虐待の防止  6. 公的扶助 1) 生活保護法の基本原理              2) 生活保護の運営実施と体制 3) 生活保護の現状  7. 一人親家庭の福祉 1) 母子福祉対策                        2) 父子家庭対策 3) 児童扶養手当制度  8. 労働者災害補償保険制度・雇用保険制度  9. 社会福祉と医療・看護の連携			<関連科目> 疾病治療総論 公衆衛生学 在宅看護論 医療概論
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	社会保障・社会福祉：医学書院		

授業科目	関係法規			
教育方法	講義	単位・時間数	1単位	15時間
開講学期	3年次	1学期		
科目目標	看護職や看護実践に関連する法令の知識を学び、職業人として法に対する規範的行動を身につける			
授業内容				備考
1. 法の内容 2. 看護法 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 3. 医事法 1) 医師法 2) 医療法 3) 医療関係資格法 (1) 診療放射線技師法 (2) 臨床検査技師等に関する法律 (3) 理学療法士及び作業療法士法 4) 医療を支える法 (1) 独立行政法人国立病院機構法 (2) 臓器の移植に関する法律 (3) 死体解剖保存法 (4) 死産の届けに関する規程 (5) 医学及び歯学の教育のための献体に関する法律 4. 薬物に関する法律 1) 薬剤師法 2) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律 3) 麻薬及び向精神薬取締法 4) 毒物及び劇物取締法 5) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 6) その他の医薬品に関する法律 5. 社会保険法 1) 健康保険法 2) 国民健康保険法 3) 高齢者の医療に関する法律 4) 介護保険法 5) 国民年金法 6. 労働法と社会基盤整備 1) 労働基準法 2) 労働安全衛生法 3) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 4) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 5) 個人情報の保護に関する法律 7. 環境法 1) 環境基本法 2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 3) 公害健康被害の保障等に関する法律				<関連科目> 倫理学 社会福祉 公衆衛生学 基礎看護学 看護の統合と実践
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	看護をめぐる法と制度：MCメディカ出版 国民衛生の動向			

# 專門分野 I

## 専門分野 I (基礎看護学)

授業科目	看護学概論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	看護の概念と、看護の対象である人間とその健康及び看護の果たす役割を理解し、看護学の基盤をつくることのできる		
回数	授業内容	備考	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の本質               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護の定義</li> <li>2) 役割と機能</li> <li>3) 職業としての看護</li> <li>4) 学問としての看護</li> <li>5) 看護の変遷</li> </ol> </li> <li>2. 看護の対象とその理解               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護のねらい総合体としての人間</li> <li>2) 成長発達する存在</li> <li>3) 看護の変遷および現代社会における看護</li> <li>4) ニーズをもつ存在</li> <li>5) 生活者としての存在</li> <li>6) 適応する存在</li> <li>7) 社会・文化的存在</li> </ol> </li> <li>3. 人間と健康               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康のとらえ方 (WHOの定義、ウェルネスの概念)</li> <li>2) 健康と病気</li> <li>3) ライフサイクルと発達課題</li> </ol> </li> <li>4. 看護の理論と実践               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護実践のための理論的根拠</li> <li>2) 看護における倫理と価値 (QOLを含む)</li> </ol> </li> <li>5. 看護の展開               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護ケア (看護援助) の基本的役割</li> <li>2) 看護過程</li> </ol> </li> <li>6. 社会機能としての看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保健・医療・福祉システム</li> <li>2) 継続看護</li> </ol> </li> <li>7. 国際看護の基礎</li> </ol>		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	看護学概論：MCメディカ出版 フローレンス・ナイチンゲール「看護覚え書き」：日本看護協会出版会 バージニア・ヘンダーソン「看護の基本となるもの」：日本看護協会出版会 よくわかる看護者の倫理綱領：照林社		

授業科目	共通看護技術 I		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
担当教員	看護師 病院での看護経験		
科目目標	看護専門職として看護活動に必要な基本技術の概念と構造を理解し、あらゆる看護活動に共通する技術を身につける		
回数	授業内容	授業方法	備考
1	1. 看護技術とは	講義	<関連科目> 看護学概論 微生物学 人間関係論
1	1) 看護技術の特徴		
1	2) 看護技術の質		
1	3) 看護技術における倫理		
1	4) 看護技術における安全の意義		
1	5) 看護技術における安楽の意義		
15	2. 安楽を整える技術	演習	
15	1) 安楽を整える技術の基礎知識		
15	2) 温罨法・冷罨法の技術演習		
2～3	3. 人間関係形成のための技術	講義	
2～3	1) 言語的コミュニケーション		
2～3	2) 非言語的コミュニケーション		
4～5	3) 面接技法		
6	4) コミュニケーションの技術演習	演習	
7	4. 感染予防の技術	講義	
7	1) 感染予防の基礎知識		
8	2) 標準予防策		
9	3) 感染経路別予防策	演習	
9	(1) 標準予防策・防護用具の技術演習		
10	4) 洗浄・消毒・滅菌	講義	
11	5) 無菌操作	演習	
12	(1) 鑷子、滅菌包装の取り扱いの		
13	技術演習		
13	6) 感染性廃棄物の取り扱い	講義	
14	7) 感染症発生時の対応	演習	
	8) 針刺し事故防止		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	基礎看護技術 I・II:医学書院 よくわかる看護師の倫理綱領:照林社 根拠と事故防止から見た基礎臨床看護技術:医学書院		

授業科目	共通看護技術Ⅱ		
教育方法	講義・演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 2学期		
担当教員	看護師 病院での看護経験		
科目目標	各看護学の基盤となる看護過程の構造を理解し、看護実践に必要な問題解決思考を身につける		
回数	授業内容	授業方法	備考
1～2	1. 看護過程の基になる考え方と理論	講義	<関連科目> 看護学概論 論理的思考 成人看護学演習Ⅱ
1～2	1) 看護過程とは		
1～2	2) 看護過程と問題解決過程		
1～2	3) 看護過程とクリティカルシンキング		
1～2	4) 看護過程と看護理論の関係		
1～2	(ヘンダーソン、オレム、ゴードン、ロイ)		
1～2	5) 看護診断		
3～7	2. 看護過程展開の技術		
3～7	1) 情報の種類、収集方法と分析・解釈の統合		
3～7	2) 看護問題の明確化と優先順位決定		
3～7	3) 看護目標の設定と計画		
3～7	4) 実施・評価		
3～7	5) 看護記録		
3～7	(1) 記録の意義		
3～7	(2) 種類と法的根拠		
3～7	(3) 記録の方法と注意点		
3～7	(4) 記録の管理		
3～7	6) 報告の必要性和方法		
3～7	7) 医療計画とクリニカルパス		
9～15	*事例を用いて看護過程の展開を行う。 事例は、学習進度に応じた内容とする。	演習	
8	3. 学習支援	講義	
8	1) 学習に関わる諸理論		
8	2) 看護における学習支援とは		
8	3) 健康に生きることを支える学習支援		
8	4) 健康状態の変化に伴う学習支援		
8	5) 看護の中に含まれる学習支援		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ：医学書院 ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント： ヌーヴェルヒロカワ 看護過程に沿った対症看護：学研		



授業科目	共通看護技術Ⅲ			
教育方法	講義・演習	単位・時間数	1単位 30時間	
開講学期	1年次 1学期			
担当教員	看護師 病院での看護経験			
回数	授業内容	授業方法	備考	
1	1. ヘルスアセスメント	講義	<関連科目> 生活科学 成人看護実践論Ⅱ 成人看護実践論Ⅲ 成人看護学演習Ⅰ	
1	1) ヘルスアセスメントとは			
1	2) 健康歴とセルフケア能力のアセスメント			
1	(1) 問診・インタビュー			
2	3) フィジカルアセスメントとは			
2	4) フィジカルアセスメントに必要な技術			
2	(1) 視診 (2) 触診 (3) 聴診 (4) 打診			
3	5) 身体計測			
3	(1) 身長 (2) 体重 (3) 胸囲 (4) 腹囲			
3	(5) 握力 (6) 肺活量			
4～13	6) 体温維持のフィジカルアセスメント			
4～13	(1) 体温 (2) 体温測定 of 技術演習			
4～13	7) 呼吸器系のフィジカルアセスメント			
4～13	(1) 胸部の観察 (2) 呼吸音の聴取			
4～13	(3) 呼吸音の聴取、SpO <sub>2</sub> の測定 of 技術演習			
4～13	8) 循環器系のフィジカルアセスメント	講義・演習		
4～13	(1) 心臓の触診 (心尖拍動) (2) 心音の聴取			
4～13	(3) 心尖拍動の触診、心尖部での心音の聴診 of 技術演習			
4～13	(4) 脈拍 (5) 血圧 (6) 脈拍・血圧測定 of 技術演習			
14～15	9) 乳房・腋窩のフィジカルアセスメント			
14～15	(1) 乳房および腋窩 (リンパ節) の視診・触診			
14～15	(2) 胸囲の測定 of 技術演習			
14～15	10) 腹部のフィジカルアセスメント			
14～15	(1) 腹部の視診 (2) 腸蠕動音の聴取			
14～15	(3) 腹囲の測定・腸蠕動音の聴診 of 技術演習			
14～15	11) 筋・骨格系のフィジカルアセスメント		講義	ROM測定とMMTは疾病治療論Ⅳで技術演習を行う
14～15	(1) 日常生活動作 (ADL) (2) 関節可動域 (ROM)			
14～15	(3) 徒手筋力テスト (MMT)			
14～15	12) 神経系のフィジカルアセスメント	講義・演習		
14～15	(1) 感覚機能 (2) 反射 (3) 意識			
14～15	(4) 意識・反射の観察 of 技術演習			
14～15				
評価の方法		技術試験・筆記		
テキスト		基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ：医学書院 フィジカルアセスメントがみえる：医療情報科学研究所 からだの地図帳：講談社		

授業科目	日常生活援助技術 I			
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位	30時間
開講学期	1年次	1学期		
担当教員	看護師 病院での看護経験			
科目目標	環境を整える援助および活動・休息を整える援助技術を身につける			
回数	授業内容	授業方法	備考	
1～3	1. 生活環境を整える技術	講義	<関連科目> 生活科学 解剖生理学IV	
1～3	1) 生活環境調整の意義			
1～3	2) 療養者と環境			
1～3	3) 療養環境の構成因子			
1～3	(1) 温度・湿度 (2) 照度 (3) 騒音 (4) 換気			
1～3	(5) 採光 (6) 臭気 (7) プライバシーの保護			
1～3	4) 病床に必要な要件			
1～3	5) 生活環境調整の援助方法			
4～5	(1) 環境調整 (2) ベッドメイキング			
4～5	(3) 環境調整・ベッドメイキング・臥床患者の			
4～5	リネン交換の技術演習	演習		
1 3～1 5	6) 個々の患者に適した援助方法の選択	講義		
	(1) 対象の状態と観察 (2) 援助の目的と方法			
6～9	2. 活動・運動			
6～9	1) 活動・運動の意義			
6～9	2) 活動・運動に影響する要因			
6～9	3) 活動・運動のアセスメント			
6～9	4) 活動・運動の援助方法			
6～9	(1) 姿勢と体位の保持			
6～9	(2) 体位変換・床上移動			
6～9	(3) 車椅子への移乗と移送			
6～9	(4) ストレッチャーへの移乗と移送			
6～9	(5) 歩行介助	演習		
1 0～1 2	(6) 体位変換・床上移動・車椅子及び ストレッチャーの移乗と移送の技術演習			
6～9	3. 休息・睡眠の援助技術	講義		
6～9	1) 休息・睡眠の意義			
6～9	2) 休息・睡眠に影響する要因			
6～9	3) 休息・睡眠のアセスメント			
6～9	4) 療養生活におけるレクリエーション			
6～9	5) 睡眠を促す援助方法			
評価の方法	技術試験 (ベッドメイキング) ・筆記			
テキスト	基礎看護技術 I ・ II : 医学書院 根拠と事故防止から見た基礎臨床看護技術 : 医学書院			

授業科目	日常生活援助技術 I				
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位	30時間	
開講学期	1年次	1学期			
担当教員	看護師 病院での看護経験				
科目目標	環境を整える援助および活動・休息を整える援助技術を身につける				
回数	授業内容	授業方法	備考		
1～3	1. 生活環境を整える技術	講義	<関連科目> 生活科学 解剖生理学Ⅳ		
1～3	1) 生活環境調整の意義				
1～3	2) 療養者と環境				
1～3	3) 療養環境の構成因子				
1～3	(1) 温度・湿度 (2) 照度 (3) 騒音 (4) 換気				
1～3	(5) 採光 (6) 臭気 (7) プライバシーの保護				
1～3	4) 病床に必要な要件				
1～3	5) 生活環境調整の援助方法				
4～5	(1) 環境調整 (2) ベッドメイキング				演習
4～5	(3) 環境調整・ベッドメイキング・臥床患者の リネン交換の技術演習				
1 3～1 5	6) 個々の患者に適した援助方法の選択 (1) 対象の状態と観察 (2) 援助の目的と方法	講義			
6～9	2. 活動・運動				
6～9	1) 活動・運動の意義				
6～9	2) 活動・運動に影響する要因				
6～9	3) 活動・運動のアセスメント				
6～9	4) 活動・運動の援助方法				
6～9	(1) 姿勢と体位の保持				
6～9	(2) 体位変換・床上移動				
6～9	(3) 車椅子への移乗と移送				
6～9	(4) ストレッチャーへの移乗と移送				
6～9	(5) 歩行介助	演習			
1 0～1 2	(6) 体位変換・床上移動・車椅子及び ストレッチャーの移乗と移送の技術演習				
6～9	3. 休息・睡眠の援助技術	講義			
6～9	1) 休息・睡眠の意義				
6～9	2) 休息・睡眠に影響する要因				
6～9	3) 休息・睡眠のアセスメント				
6～9	4) 療養生活におけるレクリエーション				
6～9	5) 睡眠を促す援助方法				
評価の方法	技術試験 (ベッドメイキング) ・筆記				
テキスト	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ：医学書院 根拠と事故防止から見た基礎臨床看護技術：医学書院				

授業科目	日常生活援助技術Ⅱ			
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間	
開講学期	1年次 1学期			
担当教員	看護師 病院での看護経験			
科目目標	清潔・衣生活を整える援助技術を身につける			
回数	授業内容	授業方法	備考	
1	1. 清潔の援助	講義	<関連科目> 生活科学 解剖生理学Ⅳ	
1	1) 身体の清潔の意義			
1	2) 清潔に影響する要因			
1	3) 清潔のアセスメント			
4	4) 身体各部の清潔の援助方法			
4	(1) 入浴、シャワー浴			
5	(2) 全身清拭			
7	(3) 口腔ケア			
9	(4) 洗髪			
11	(5) 部分浴(手浴、足浴)			
13	(6) 陰部洗浄			
15	(7) 整容(結髪、爪切り、髭剃り)			
6. 8. 10. 12. 14	(8) 石鹸清拭・口腔ケア・ 臥床患者の洗髪・足浴・ 陰部洗浄・結髪の実演			演習
2	2. 衣生活の援助			講義
2	1) 衣生活の意義			
2	2) 衣生活に影響する要因			
2	3) 衣生活のアセスメント			
2	4) 衣生活の援助方法			
2	(1) 病衣の選択			
3	(2) 寝衣交換	演習		
	(3) 臥床患者の寝衣交換の実演			
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ：医学書院 根拠と事故防止から見た基礎臨床看護技術：医学書院			

授業科目	日常生活援助技術Ⅲ		
教育方法	講義・演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
担当教員	看護師 病院での看護経験		
科目目標	食事・排泄を整える援助技術を身につける		
回数	授業内容	授業方法	備考
1	1. 食事の援助	講義	<関連科目> 生活科学 解剖生理学Ⅱ・Ⅲ
1	1) 食事・栄養の意義		
1	2) 食事・栄養摂取に影響する要因		
2	3) 食事・栄養状態のアセスメント		
3	4) 食事摂取の援助方法		
4	(臥床患者の食事介助の技術演習)	演習	
5	5) 非経口栄養法	講義	
5	(1) 経管栄養法		
5	(2) 経静脈栄養法(中心静脈栄養法)		
6	2. 排泄の援助		
6	1) 排泄の意義		
6	2) 排泄に影響する要因	演習	
6	3) 排泄のアセスメント		
7	4) 自然な排便・排尿を促す援助方法		
7	5) トイレ歩行・ポータブルトイレの援助方法		
8	6) 床上での尿器・便器・おむつによる援助方法		
9～10	7) 便器・尿器の当て方、おむつ交換の技術演習	講義演習	
11～15	8) 排泄に関する処置		
11～15	(1) 浣腸(グリセリン浣腸の技術演習)		
11～15	(2) 摘便		
11～15	(3) 導尿(一時的導尿の技術演習)		
11～15	(4) 膀胱留置カテーテル		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ:医学書院 根拠と事故防止から見た基礎臨床看護技術:医学書院		

授業科目	診療の補助技術Ⅰ			
教育方法 開講学期	講義・演習 1年次 2学期	単位・時間数	1単位 30時間	
担当教員	看護師 病院での看護経験			
科目目標	検査・処置を受ける患者の看護技術を身につける			
回数	授業内容	授業方法	備考	
1	1. 診察、検査・処置時の看護師の役割	講義	<関連科目> 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅳ 微生物学 臨床検査 疾病治療論Ⅳ 成人看護実践論Ⅱ	
1	1) 診察、検査・処置時の看護師の役割			
1	(1) 診察時の援助の実際			
1	(2) 検査・処置時の援助の実際			
2	2. 検査時の援助方法			
2	1) 検体検査の種類と採取方法			
2	(1) 尿、便、喀痰			
3~4	(2) 静脈血採血			
6	(3) 血糖測定			
5	(4) 静脈血採血・血糖測定の技術演習			演習
10	3. 処置時の援助方法	講義		
10	1) 呼吸を整える技術			
10	(1) 呼吸を楽にする姿勢・呼吸法			
11	(2) 排痰法			
11	①排痰法の基礎知識			
11	②口腔内・鼻腔内吸引・気管内吸引			
14	(3) 酸素吸入の適応と方法			
12~13	(4) 口腔内・鼻腔内・気管内吸引の技術演習			演習
15	(5) 酸素吸入の技術演習			
7	2) 皮膚・創傷の管理			講義
7	(1) 創傷の種類・治癒過程と観察			
7	(2) 創傷の管理			
8	(3) ドレッシング・包帯法			
9	(4) 創傷管理・包帯法の技術演習	演習		
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ：医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術：医学書院 からだの地図帳：講談社			

授業科目	診療の補助技術Ⅱ		
教育方法	講義・演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 2学期		
担当教員	看護師 病院での看護経験		
科目目標	与薬を受ける患者の看護技術を身につける		
回数	授業内容	授業方法	備考
1	1. 薬物療法の理解	講義	<関連科目> 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅳ
1	1) 与薬の意義・目的		
1	2) 与薬の看護師の役割と責任		
1	(1) 薬理作用・副作用と観察		
1	(2) 薬剤の正しい取扱い		
1	(3) 誤薬・誤認防止		
1	(4) 薬物の暴露の危険性と予防策		
1	(5) 起こりやすい合併症と生活への影響		
2	2. 経口およびその他の方法による与薬の看護		
2	1) 経口与薬		
2	2) 口腔内与薬法		
2	3) 直腸内与薬法		
3	4) 塗擦法		
3	5) 点眼・点入法		
3	6) 吸入法		
4	7) 直腸内与薬の技術演習	演習	
5～8	3. 注射法による与薬の看護	講義	
5～8	1) 皮下注射		
5～8	2) 皮内注射		
10	3) 筋肉内注射		
12	4) 静脈内注射		
13	5) 点滴静脈内注射、三方活栓の取り扱い		
15	6) 輸血		
9. 11. 14	7) 皮下注射・筋肉内注射・点滴静脈内注射 (三方活栓の取り扱い)の技術演習	演習	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ：医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術：医学書院 からだの地図帳：講談社		

授業科目	臨床看護総論		
教育方法 開講学期	講義 ・ 演習 1年次 2学期	単位・時間数	1単位 30時間
科目目標	1. それぞれの健康段階にある患者および家族を理解し、健康段階に合わせた看護の考え方を学ぶ 2. 症状・治療に合わせた看護の基本を学ぶ		
回数	授業内容	備考	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. おもな看護展開の場と看護の機能</li> <li>2. 看護の役割と機能を支えるしくみ</li> <li>3. 健康段階からみた看護の臨床判断 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急激な身体侵襲により急性期及び回復過程にある患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 急性期の看護の概念</li> <li>(2) 急性期の患者のニーズ</li> <li>(3) 急性期にある患者の治療の特徴と看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>①救命救急、手術時の医療の責任と役割</li> <li>②安静療法を受ける患者の看護</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2) 障害への適応と社会復帰への看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 障害を持つ患者の看護の概念</li> <li>(2) 障害を持つ患者のニーズ、アセスメント</li> <li>(3) 障害を持つ患者の治療の特徴と看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>①障害受容と日常生活動作の制限、食事療法を受ける患者の看護</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3) 慢性的な経過をたどる健康障害への看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 慢性期の看護の概念</li> <li>(2) 慢性期の患者のニーズ <ol style="list-style-type: none"> <li>①疾病・病状の自己管理</li> <li>②疾病・病状の自己管理健康障害の受容</li> </ol> </li> <li>(3) 慢性期にある患者の治療の特徴と看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>①セルフケア行動継続と薬物療法を受ける患者の看護</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4) 終末期の看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 終末期の看護の概念</li> <li>(2) 終末期の患者のニーズ</li> <li>(3) 終末期にある患者の治療の特徴と看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>①死の受容過程に応じて緩和ケアを受ける患者の看護</li> <li>②死後の処置とグリーフケア</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4. 主要症状のある患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 痛み 2) 循環障害 3) 呼吸障害 4) 排泄障害</li> <li>5) 意識障害</li> </ol> </li> <li>5. 治療・処置を受けている患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 輸液療法 2) 食事療法 3) 化学療法</li> <li>4) 放射線療法 5) 手術療法</li> </ol> </li> </ol>	<関連科目> 疾病治療総論 看護学概論	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	臨床看護総論：医学書院 成人看護学総論：医学書院 臨床外科看護総論：医学書院 看護過程に沿った対症看護：学研		



授業科目	基礎看護学実習 I		
教育方法	実習	単位・時間数	1単位 45時間
開講学期	1年次	2学期	
科目目標	1. 入院している対象の療養環境を理解する。 2. 対象に応じた日常生活援助を実施できる。		
授業内容			
1. 対象を理解するための観察 2. 患者－看護師関係形成に向けたコミュニケーション 3. 療養環境の調整 4. 対象に必要な日常生活援助 5. 看護者として必要な責任ある行動や態度			
実習場所	実習要項参照		
評価方法	評価表に基づいた評価		

授業科目	基礎看護学実習Ⅱ		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	1年次 2学期		
科目目標	1. 対象に応じた看護の実践に看護過程展開技術を適用し、問題解決法を身につける。 2. 健康障害のある対象の看護問題を判断し、計画を立案、実施、評価する一連の過程を行い、看護過程の理解を深める。		
授業内容			
1. 理論的枠組みを活用した健康障害にある対象理解  2. 患者－看護師関係の成立に向けたコミュニケーション  3. 健康障害のある対象の看護問題の抽出と計画立案  4. 健康障害のある対象の看護  5. 看護者として必要な責任ある行動や態度			
実習場所	実習要項参照		
評価方法	評価表に基づいた評価		

# 專門分野Ⅱ

## 専門分野Ⅱ（成人看護学）

授業科目	成人看護学概論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 1学期		
科目目標	1. 成人期にある人々の特徴と生活及び健康問題の特徴について理解できる。 2. 成人期における看護の目的について理解できる。 3. 成人看護に有用な概念や理論について理解できる。		
授業内容		備考	
1. 成人の特徴と生活 1) 成人の生涯発達の特徴 (1) 青年期・壮年期・向老期の身体の特徴 (2) 青年期・壮年期・向老期の心理社会的な特徴 2) 成人と生活 (1) 家族形態と機能 (2) 社会状況の変化と成人の生活 3) 成人保健・医療・福祉の動向  2. 成人に特有な健康問題の特徴 1) 健康バランスに影響を及ぼす要因 2) 生活行動がもたらす健康問題 (1) 生活習慣 (2) 職業 (3) ストレス  3. 成人への看護の基本 1) 生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 2) 家族支援  4. 成人看護に有用な概念・理論 1) アンドラゴジー 2) ヘルスプロモーション 3) 危機モデル（フィנקのモデル） 4) ストレスコーピング 5) 病みの軌跡 6) セルフケア理論 7) エンパワメント		<関連科目> 心理学 看護学概論 公衆衛生学 社会福祉	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	成人看護学総論：医学書院 国民衛生の動向		

授業科目	成人看護実践論 I			
教育方法 開講学期	講義 2年次	1学期	単位・時間数	1単位 15時間
科目目標	成人期にある人々の健康保持・増進と疾病予防のための看護について理解できる			
授業内容				備考
1. 健康保持・増進、疾病の予防に向けたアプローチ 1) 生活習慣病に関連する健康障害の予防 (1) 生活習慣病の発生要因と対応 (2) 生活習慣病の発症予防とセルフケアへの支援 2) 職業性疾患に関連する健康障害の予防 (1) 職業性疾患の予防と対応 ①化学的要因によるもの ②物理的因子によるもの ③作業条件によるもの (2) 職業性疾患を考慮した看護師の役割 3) ストレスに関連する健康障害の予防 (1) ストレス関連疾患の予防と対応 (2) ストレス関連疾患を考慮した看護方法				<関連科目> 心理学 看護学概論 成人看護学概論
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	成人看護学総論：医学書院 国民衛生の動向			

授業科目	成人看護実践論Ⅱ		
教育方法 開講学期	講義 2年次 1学期	単位・時間数	1単位 30時間
科目目標	1. 呼吸機能障害のある成人への看護について理解できる 2. 循環機能障害のある成人への看護について理解できる 3. 消化・吸収機能障害のある成人への看護について理解できる		
授業内容		備考	
<p>1. 呼吸機能障害を抱えながら生活する人の看護</p> <p>1) 障害の原因、症状、看護 (1) 呼吸機能障害がもたらす生活への影響 (2) 酸素化障害 (ガス交換) (3) 換気障害 (換気運動) (4) 呼吸運動障害 (呼吸調節)</p> <p>2) 主な検査と治療、それらに対する看護 (1) 肺野の聴診 (異常音) (2) 気管支鏡検査 (3) 胸腔穿刺 (4) 肺生検 (5) 人工呼吸療法 (非侵襲的陽圧換気・侵襲的陽圧換気)</p> <p>3) 疾患を抱える患者の看護 (1) 肺がん (肺切除術の内容も含む) (2) 肺炎 (3) 慢性閉塞性肺疾患 (4) 気管支喘息</p> <p>2. 循環機能障害を抱えながら生活する人の看護</p> <p>1) 障害の原因、症状、看護 (1) 循環機能障害がもたらす生活への影響 (2) ポンプ機能障害 (3) 輸送還流障害 (4) 刺激伝導障害</p> <p>2) 主な検査と治療、それらに対する看護 (1) 心音聴診 (心雑音) (2) 心臓カテーテル検査 (3) 心臓血管造影検査 (4) 心エコー検査 (5) 弁置換術 (6) 大動脈内バルーンパンピング (7) 血栓溶解療法・血栓除去術</p> <p>3) 疾患を抱える患者の看護 (1) 心不全 (2) 虚血性心疾患 (経皮的冠動脈形成術、冠状動脈バイパス術の看護も含む) (3) 不整脈 (ペースメーカー装着、植え込み型除細動器の看護も含む) (4) 下肢動脈閉塞症</p> <p>3. 消化・吸収機能障害を抱えながら生活する人の看護</p> <p>1) 障害の原因、症状、看護 (1) 消化機能障害がもたらす生活への影響 (2) 消化管機能障害 (3) 膵液分泌障害</p> <p>2) 主な検査と治療、それらに対する看護 (1) 視診・聴診・打診・触診 (腹水・脾腫・肝腫・圧痛点) (2) 上部消化管および大腸内視鏡 (3) 上部・下部消化管造影 (4) 内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (5) 直腸診 (6) 消化管手術後ドレーン挿入 (7) 胆道・胆嚢ドレーン挿入</p> <p>3) 疾患を抱える患者の看護 (1) 潰瘍性大腸炎・クローン病 (2) 胃・十二指腸潰瘍 (3) 食道がん (食道切除術前後の看護も含む) (4) 胃がん (胃切除術前後の看護も含む) (5) 大腸がん (大腸切除術前後および人工肛門造設術前～術後のセルフケア習得までの内容含む) (6) 急性膵炎</p>		<p>&lt;関連科目&gt; 解剖生理学 薬理学 臨床検査 疾病治療論 診療の補助技術 共通看護技術Ⅲ</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	成人看護学：医学書院「循環器」「呼吸器」「消化器」 基礎看護技術Ⅰ：医学書院 フィジカルアセスメントがみえる：メディックメディア		

授業科目	成人看護実践論Ⅲ			
教育方法 開講学期	講義 2年次	1学期	単位・時間数	1単位 30時間
科目目標	1. 栄養代謝機能障害のある成人への看護について理解できる 2. 脳・神経機能障害のある成人への看護について理解できる 3. 身体防御機能障害のある成人への看護について理解できる			
授業内容				備考
<p>1. 栄養代謝機能障害を抱えながら生活する人への看護</p> <p>1) 障害の原因、症状、看護</p> <p>(1) 栄養代謝機能障害がもたらす生活への影響</p> <p>(2) 肝機能障害</p> <p>①肝性脳症 ②浮腫・腹水 ③倦怠感 ④黄疸 ⑤出血傾向</p> <p>(3) 代謝機能障害</p> <p>①肥満 ②るい瘦 ③痛風発作</p> <p>2) 主な検査と治療、それらに対する看護</p> <p>(1) 肝生検</p> <p>3) 疾患を抱える患者の看護</p> <p>(1) 急性肝炎・慢性肝炎（肝庇護療法・インターフェロン療法の看護も含む）</p> <p>(2) 肝硬変（代償期・非代償期）</p> <p>(3) 食道静脈瘤（食道静脈瘤硬化療法の看護も含む）</p> <p>(4) 肝癌（肝動脈塞栓術、肝切除術の看護も含む）</p> <p>(5) 高尿酸血症 (6) 高脂血症</p> <p>2. 脳・神経機能障害を抱えながら生活する人への看護</p> <p>1) 障害の原因、症状、看護</p> <p>(1) 脳・神経機能障害がもたらす生活への影響</p> <p>(2) 意識障害 (3) 高次脳機能障害 (4) 運動機能障害</p> <p>(5) 感覚機能障害 (6) 自律性のある機能の障害</p> <p>2) 主な検査と治療、それらに対する看護</p> <p>(1) 脳脊髄液（髄液）検査 (2) 脳血管撮影 (3) 脳波検査</p> <p>(4) 外科的治療</p> <p>①開頭術（脳室ドレナージの内容も含む） ②穿頭術 ③下垂体手術</p> <p>④血管バイパス術 ⑤脳室－腹腔短絡（シャント）術</p> <p>(5) 血管内治療（血栓溶解療法、動脈瘤塞栓術） (6) 低体温療法</p> <p>3) 疾患を抱える患者の看護</p> <p>(1) 脳血管障害</p> <p>①クモ膜下出血（病期に応じた） ②一過性脳虚血・脳梗塞（病期に応じた）</p> <p>(2) 脳腫瘍 (3) 頭部外傷 (4) 脊髄損傷</p> <p>3. 身体防御機能障害を抱えながら生活する人への看護</p> <p>1) 障害の原因、症状、看護</p> <p>(1) 身体防御機能障害がもたらす生活への影響</p> <p>(2) 易感染 (3) 出血傾向</p> <p>2) 主な検査と治療、それらに対する看護</p> <p>(1) 骨髄穿刺 (2) 免疫抑制薬 (3) ステロイド療法</p> <p>3) 疾患を抱える患者の看護</p> <p>(1) HIV（抗HIV療法の看護も含む）</p> <p>(2) 自己免疫性疾患</p> <p>①全身性エリテマトーデス ②全身性強皮症 ③多発性筋炎</p> <p>④シェーグレン症候群 ⑤ベーチェット病</p> <p>(3) 悪性リンパ腫</p> <p>(4) 白血病</p>				<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学 薬理学 臨床検査 疾病治療論</p>
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	成人看護学：医学書院 「消化器」「内分泌・代謝」「脳・神経」「血液・造血器」「アレルギー 膠原病 感染症」 基礎看護技術Ⅰ：医学書院 フィジカルアセスメントがみえる：メディックメディア			

授業科目	成人看護実践論Ⅳ		
教育方法 開講学期	講義 2年次	1学期	単位・時間 数 1単位 30時間
科目目標	1. 内分泌障害のある成人への看護について理解できる 2. 内部環境調節機能障害のある成人への看護について理解できる 3. 排泄機能障害のある成人への看護について理解できる 4. 性・生殖機能障害のある成人への看護について理解できる		
授業内容			備考
1. 内分泌機能障害を抱えながら生活する人への看護 1) 障害の原因、症状、看護 (1) 内分泌機能障害がもたらす生活への影響 (2) 甲状腺機能障害 (3) 副腎機能障害 (4) 下垂体機能障害 2) 主な検査、それらに対する看護 (1) ホルモン負荷試験 (2) ホルモンの血中濃度測定 (3) ホルモンおよび代謝産物の尿中量測定 3) 疾患を抱える患者の看護 (1) パセドウ病 (2) 甲状腺機能低下症 (甲状腺ホルモン療法の内容含む) (3) 甲状腺がん (甲状腺切除術の内容含む) 2. 内部環境調節機能障害を抱えながら生活する人への看護 1) 障害の原因、症状、看護 (1) 体温調節障害 (2) 血糖調節障害 (3) 体液調節障害 (4) 電解質調節障害 (5) 酸塩基平衡調節障害 2) 主な検査と治療、それらに対する看護 (1) 糖負荷試験 (OGTT) (2) 腎生検 (3) 腎機能検査 ①クリアランス試験 ②フィッシュバーグ濃縮試験 ③PSP排泄試験 (4) 腎移植 3) 疾患を抱える患者の看護 (1) I型糖尿病・II型糖尿病 (食事療法、運動療法、インスリン療法、経口薬療法の内容含む) (2) 慢性腎不全 (腎移植・透析療法・食事療法の内容含む) ・急性腎不全 (3) ネフローゼ症候群 (食事療法の内容含む) 3. 排泄機能障害を抱えながら生活する人への看護 1) 障害の原因、症状、看護 (1) 蓄尿障害 (2) 排尿障害 2) 主な検査と治療、それらに対する看護 (1) 尿流動態検査 (2) 膀胱鏡検査 (3) 静脈性尿路造影 3) 疾患を抱える患者の看護 (1) 膀胱がん (膀胱切除術、尿路変向術の術前～術後のセルフケア習得までの内容含む) (2) 前立腺がん (前立腺切除術、ホルモン療法の内容含む) 4. 性・生殖機能障害を抱えながら生活する人への看護 1) 障害の原因、症状、看護 (1) 性・生殖機能障害がもたらす生活への影響 (2) 性交障害 (3) 性機能障害 (4) 性感染症 (5) ホルモン欠落症状 2) 主な検査と治療、それらに対する看護 (1) 性感染症治療 (2) 診療介助における看護 (外診および内診時) 3) 疾患を抱える患者の看護 (1) 乳癌 (乳癌内分泌療法、乳房切除術の内容含む) (2) 女性生殖器切除術			<関連科目> 解剖生理学 薬理学 臨床検査 疾病治療論
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	成人看護学：医学書院 「内分泌・代謝」「腎・泌尿器」「女性生殖器」 基礎看護技術Ⅰ：医学書院 フィジカルアセスメントがみえる：メディックメディア		



授業科目	成人看護学演習 I		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 2学期		
科目目標	急性期・回復期における看護技術、思考過程を身につける		
	授業内容	備考	
	<p>1. 急性期・回復期における患者の状態に応じた援助の実際</p> <p>1) 大腸がんにより、人工肛門造設術を受ける患者の看護過程の展開</p> <p>(1) 術前の不安とアセスメント</p> <p>(2) 手術・麻酔による影響</p> <p>(3) 術後合併症の予防</p> <p>(4) リハビリテーション (リハビリテーションの看護師の役割含む)</p> <p>(5) 危機モデルを活用</p> <p>(6) 技術演習</p> <p>①術前オリエンテーション</p> <p>②術後ベッド作成</p> <p>③患者の観察</p> <p>④心電図モニター、12誘導心電図</p> <p>⑤ドレーンの管理</p>	<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学 薬理学 臨床検査 疾病治療論 共通看護技術Ⅲ</p> <p>(技術演習)</p> <p>1. 術前・術後看護</p> <p>1) 術後ベッド作成</p> <p>2) 患者観察 (フィジカルアセスメント・ヘルスアセスメント)</p> <p>3) 心電図モニター・12誘導心電図</p> <p>4) ドレーンの管理</p> <p>2. 術前オリエンテーション</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>成人看護実習ガイドⅠ：照林社</p> <p>臨床看護総論・臨床外科看護総論：医学書院</p> <p>成人看護学「循環器」「消化器」：医学書院 基礎看護技術Ⅰ：医学書院</p> <p>フィジカルアセスメントがみえる：メディックメディア</p>		

授業科目	成人看護学演習Ⅱ				
教育方法	講義・演習	単位・時間数	1単位 30時間		
開講学期	2年次 1学期				
担当教員	看護師 病院での成人期の患者さまを対象とした看護経験				
科目目標	慢性期・終末期における看護技術、思考過程を身につける				
回数	授業内容	授業方法	備考		
1～8	1. 慢性期における患者の看護過程の展開	講義・演習	<関連科目> 解剖生理学Ⅲ 薬理学 臨床検査 疾病治療論Ⅲ  臨床看護総論 成人看護実践論Ⅱ <技術演習項目> 1. 慢性期における患者指導 2. 終末期における心身の安楽な援助		
1～8	1) セルフケア行動形成・維持への援助				
1～8	2) 社会的支援の獲得への援助				
1～8	3) 自己効力、セルフケア理論、病みの軌跡を活用				
9～15	2. 終末期における患者の看護過程の展開				
9～15	1) 全人的苦痛のアセスメント				
9～15	2) 死の受容過程と援助				
9～15	3) 心身における安楽の援助				
9～15	4) グリーフケア				
評価の方法	筆記およびレポート等				
テキスト	成人看護学総論：医学書院 成人看護学「消化器」「内分泌・代謝」：医学書院 臨床看護総論：医学書院 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 フィジカルアセスメントがみえる：メディックメディア				

授業科目	成人看護学実習 I		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	2年次	2学期	
科目目標	慢性期にある対象の特徴を理解し、看護実践できる能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 慢性的にある成人期の対象の身体的・心理的・社会的特徴</li> <li>2. 慢性期にある対象の看護上の問題の抽出、計画立案</li> <li>3. 慢性期にある対象の生活調整・QOLの維持を目指して、自己管理と社会生活への適応のための援助</li> <li>4. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		

授業科目	成人看護学実習Ⅱ		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	3年次	1・2学期	
科目目標	急性期及び回復過程にある成人期の対象の特徴を理解し、対象に応じた看護実践ができる能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 急性期及び回復過程にある成人期の身体・心理・社会的特徴</li> <li>2. 急性期及び回復過程にある対象に行われている治療・処置・検査が心身に及ぼす影響</li> <li>3. 急性期及び回復過程にある対象の回復過程を助け、社会復帰に向けた援助</li> <li>4. 急性期及び回復過程にある対象の状態が家族へ与える影響と家族への援助</li> <li>5. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		

授業科目	成人看護学実習Ⅲ		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	3年次	1・2学期	
科目目標	終末期にある対象の苦痛を全人的苦痛（トータルペイン）として理解し、その緩和に努め、その人らしい生の終焉が迎えられるよう対象に応じた看護実践ができる能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 終末期にある対象の身体的・心理的・社会的・霊的特徴</li> <li>2. 全人的な苦痛の軽減に向けた援助</li> <li>3. 家族を含めた看護</li> <li>4. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		



授業科目	老年看護実践論Ⅰ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
担当教員	病院での老年期の患者様を対象とした看護経験		
科目目標	加齢による変化が生活に及ぼす影響と、高齢者の生活の特徴を踏まえ、健康の維持増進に向けた看護を理解する。		
回数	授業内容	授業方法	備考
1	1. 高齢者の生活を支える看護	講義	<関連科目> 成人看護学概論 疾病治療論 在宅看護論
2	1) 高齢者の生活アセスメントと看護		
2	(1) 高齢者総合的機能評価 (CGA)		
2	(2) 基本的日常生活動作 (BADL) と 手段的日常生活動作 (IADL)		
2	(3) 心理情緒機能		
2	(4) 生活環境		
3	2) コミュニケーション能力の アセスメントと看護		
4	3) 歩行・移動動作のアセスメントと看護		
5	4) 食生活のアセスメントと看護		
6	5) 排泄のアセスメントと看護		
7	6) 清潔・衣生活のアセスメントと看護		
8	7) 活動と休息のアセスメントと看護		
9	8) 性のアセスメントと看護		
9	9) 社会参加のアセスメントと看護		
10	2. 高齢者に特有な症候と看護		
11	1) せん妄		
12	2) 脱水症		
13	3) 睡眠障害		
13	4) 排尿障害		
14	5) 便秘		
14	6) 摂食・嚥下障害		
15	7) 低栄養		
15	8) 廃用症候群		
	9) 骨粗しょう症		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	老年看護学：医学書院 老年看護 病態・疾患論：医学書院		

授業科目	老年看護実践論Ⅱ			
教育方法 開講学期	講義 2年次	1学期	単位・時間数	1単位 30時間
科目目標	1. 老年期に起こりやすい運動機能障害患者の看護 2. 老年期に起こりやすい感覚機能障害患者の看護 3. 老年期に起こりやすい身体防御機能障害患者の看護 4. 老年期に起こりやすい認知症患者の看護			
	授業内容			備考
	1. 運動機能障害をもちながら生活する患者の看護 1) 疾患を抱える患者の看護 (1) 大腿骨頸部骨折                   (2) 関節リウマチ           (3) 椎間板ヘルニア 2) 症状を抱える患者の看護 (1) 姿勢機能障害                   (2) 移動機能障害 (3) 作業機能障害                   (4) 関節可動域障害・筋力低下 3) 検査を受ける患者の看護 (1) 脊椎造影・椎間板造影       (2) 膝関節鏡検査・膝関節液検査 4) 治療を受ける患者の看護 (1) ギプス固定                   (2) 牽引法 (3) 人工関節置換術               (4) ポジショニング 2. 感覚器機能障害をもちながら生活する患者の看護 1) 疾患を抱える患者の看護 (1) 糖尿病性網膜症               (2) 網膜剥離               (3) 白内障 (4) 緑内障                       (5) 老人性難聴           (6) 中耳炎 (7) メニエール病               (8) 喉頭・咽頭癌       (9) 舌癌 (10) 副鼻腔炎・鼻アレルギー 2) 症状を抱える患者の看護 (1) 視覚障害                   (2) 聴覚障害 (3) 嗅覚障害                   (4) 味覚障害 3) 検査を受ける患者の看護 (1) 眼底検査                   (2) オージオメータ検査 (3) 鼻腔内視鏡検査               (4) ろ紙ディスク法 4) 治療を受ける患者の看護 (1) 眼底光凝固療法               (2) 網膜剥離治療 (3) 人工眼内レンズ挿入術       (4) 鼓室形成術 (5) 鼻腔内手術                   (6) 舌癌手術(切除術・放射線療法) (7) ステロイド療法 3. 身体防御機能障害を抱えながら生活する患者の看護 1) 疾患を抱える患者の看護 (1) 疥癬                       (2) 熱傷 (3) 白癬                       (4) 黒色腫               (5) 帯状疱疹 2) 症状を抱える患者の看護 3) 検査を受ける患者の看護 (1) 生検(粘膜・皮膚)           (2) スキンテスト 4) 治療を受ける患者の看護 (1) 減感作療法                   (2) ステロイド療法 4. 認知症のある患者の看護 1) 症状を抱える患者の看護 (1) コミュニケーション方法   (2) 行動・心理症状と生活への影響 2) 検査・治療を受ける患者の看護 (1) 療法的アプローチ       (2) 家族への支援とサポートシステム			<関連科目> 解剖生理学 疾病治療論 成人看護学
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	老年看護学：医学書院 老年看護 病態・疾患論：医学書院 成人看護学「運動器」「眼」「耳鼻咽喉」「皮膚」「脳・神経」：医学書院			



授業科目	老年看護学演習		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
担当教員	看護師 病院での老年期の患者様を対象とした看護経験		
科目目標	老年看護の実践に共有する看護観察や看護技術、思考過程について学び、生活機能の維持・悪化予防のための基礎的能力を身につける。		
回数	授業内容	授業方法	備考
1	1. 老年期にある患者の看護過程の展開と患者の状態に応じた援助の実際	講義演習	<関連科目> 日常生活援助技術 成人看護学 在宅看護論  <技術演習項目> 1. 義歯の取り扱いと口腔ケア
2	1) 大腿骨頸部骨折の患者の看護過程の展開		
3～6	(1) 回復期にある患者		
7～11	(2) 手術後骨盤底筋群の低下により、尿失禁のある患者の援助		
12～15	(3) 廃用症候群予防のための援助		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	老年看護学：医学書院 老年看護 病態・疾患論：医学書院 成人看護学「運動器」：医学書院 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ：医学書院		

授業科目	老年看護学実習 I		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	2年次	2学期	
科目目標	老年期にある対象の特徴を理解し、対象に応じた基本的な日常生活援助を実践できる能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の多様な生活</li> <li>2. 加齢に伴う変化が日常生活に及ぼす影響</li> <li>3. 自立した生活を目指す対象に応じた日常生活援助</li> <li>4. 認知機能の低下した方とのかかわり</li> <li>5. 高齢者に合わせたレクリエーション</li> <li>6. 高齢者に対する尊重した態度</li> <li>7. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		

授業科目	老年看護学実習Ⅱ		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	2年次	2学期	
科目目標	健康障害を持つ老年期にある対象を理解、看護実践できる能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康障害を持つ老年期にある対象の特徴</li> <li>2. 健康障害を持つ老年期にある対象の看護上の問題の抽出と、計画の立案</li> <li>3. 健康障害を持つ老年期にある対象に合わせた看護</li> <li>4. 健康障害を持つ老年期にある対象を支える家族への援助の必要性</li> <li>5. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		

## 専門分野Ⅱ（小児看護学）

授業科目	小児看護学概論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	2年次 1学期		
科目目標	1. 小児看護の概念と機能・役割が理解できる。 2. 小児の成長・発達が理解できる。		
授業内容		備考	
1. 小児の看護 1) 小児看護の対象 2) 小児看護の目的 3) 子どもの最善の利益を目指した看護  2. 小児看護の歴史と意義 1) 小児看護の歴史 2) 小児看護の課題  3. 子どもの権利と看護 1) 子どもの権利 2) 現代社会と子どもの権利 3) 小児医療と子どもの権利 4) 小児看護と倫理的配慮  4. 小児看護と法律・施策 1) 子供を取り巻く社会環境 2) 母子保健施策 3) 小児に関する法律  5. 小児看護で用いられる理論 1) セルフケア理論 2) エリクソン自我発達理論 3) ピアジェの認知発達理論 4) 親子関係論 5) 家族理論		<関連科目> 心理学 社会学 教育学 公衆衛生学 社会福祉 母性看護学 精神看護学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	小児の発達と看護:MCメディカ出版 国民衛生の動向		

授業科目	小児看護実践論 I			
教育方法	講義		単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次	1学期		
科目目標	小児期の成長・発達及び健康な生活を促すための看護を理解できる			
授業内容				備考
<p>1. 成長・発達の原則</p> <p>1) 成長・発達の一般原則</p> <p>2) 成長・発達に影響する要因</p> <p>2. 乳児期の子どもの成長・発達と看護</p> <p>(1) 乳児期 (2) 形成的成長・発達の特徴</p> <p>(3) 機能的発達の特徴 (4) 心理・社会的発達</p> <p>(5) 乳児によくみられる健康問題</p> <p>(6) 乳児のセルフケアの発達と看護</p> <p>(7) 乳児のいる家族への看護</p> <p>3. 幼児期の子どもの成長・発達と看護</p> <p>(1) 特性と発達課題 (2) 家族 (3) 食事</p> <p>(4) 排泄 (5) 睡眠 (6) 清潔</p> <p>(7) 遊び (8) 安全</p> <p>4. 学童期の子どもの成長・発達と看護</p> <p>(1) 学童期 (2) 身体的特徴</p> <p>(3) 機能的発達</p> <p>(4) 学童期によくみられる健康問題・保健統計</p> <p>(5) 学童期のセルフケアの発達と看護</p> <p>5. 思春期の子どもの成長・発達と看護</p> <p>(1) 思春期 (2) 身体的成長 (3) 機能的発達</p> <p>(4) 思春期の人々によくみられる健康課題</p> <p>(5) 思春期の人々のセルフケアの発達と看護</p> <p>6. 発育の評価子どもの成長・発達と看護</p> <p>(1) 形成的成長の観察と評価</p> <p>(2) 心理社会的発達の評価</p>				<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>心理学</p> <p>社会学</p> <p>教育学</p> <p>社会福祉</p> <p>母性看護学</p> <p>精神看護学</p> <p>公衆衛生学</p>
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	小児の発達と看護:MCメディカ出版			

授業科目	小児看護実践論Ⅱ			
教育方法	講義		単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次	2学期		
科目目標	健康段階と様々な状況に応じた看護を理解できる			
授業内容				備考
1. 病気や入院が小児と家族に与える影響と看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 病院環境におけるプレパレーション</li> <li>2) 病気や入院が小児と家族に与える影響</li> <li>3) 病気になった小児と家族の看護</li> </ul> 2. さまざまな状況にある小児と家族への看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 外来における小児と家族</li> <li>2) 活動制限が必要な小児と家族（ネフローゼ症候群）</li> <li>3) 感染対策上隔離が必要な小児と家族（麻疹）</li> <li>4) 先天的な問題のある小児と家族（血友病）</li> <li>5) 周手術期における小児と家族（鎖肛・ファロー四徴症）</li> <li>6) 障害を持つ小児と家族（ダウン症候群・発達障害）</li> <li>7) 急性期にある小児と家族（気管支喘息・川崎病）</li> <li>8) 慢性期にある小児と家族（Ⅰ型糖尿病・アトピー性皮膚炎）</li> <li>9) 痛みのある小児と家族（腸重積）</li> <li>10) 終末期にある小児と家族（急性リンパ性白血病）</li> <li>11) 救急処置が必要な小児と家族（誤飲・溺水・熱傷）</li> <li>12) 特別な状況にある小児と家族（虐待・災害）</li> </ul>				<関連科目> 解剖生理学 保健医療論 社会福祉 公衆衛生学 疾病治療論
評価の方法	筆記およびレポート等			
テキスト	小児の疾患と看護：MCメディカ出版 小児の発達と看護：MCメディカ出版 小児看護技術：MCメディカ出版			

授業科目	小児看護学演習		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次	2学期	
科目目標	小児看護の実践における看護観察や看護技術、思考過程を身につける		
授業内容		備考	
<p>1. 検査・処置を受ける子どもと家族への看護</p> <p>1) 発達に応じたプレパレーション</p> <p>2) 安全・安楽への看護</p> <p>3) バイタルサイン測定</p> <p>4) 身体計測</p> <p>5) 採血</p> <p>6) 採尿</p> <p>7) 骨髄穿刺</p> <p>8) 腰椎穿刺</p> <p>9) 経口与薬</p> <p>10) 注射・輸液療法</p> <p>11) 酸素療法（酸素テント、経鼻カニューラ、保育器）</p> <p>2. 小児の看護過程の展開</p> <p>1) 気管支喘息の急性期にある小児</p> <p>(1) 喘息発作時の援助</p> <p>(2) 治療・処置に対する理解が得られにくい患児への援助</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学</p> <p>成人看護学</p> <p>母性看護学</p> <p>&lt;技術演習項目&gt;</p> <p>1. バイタルサイン測定</p> <p>2. 身体計測</p> <p>3. 静脈内点滴注射の介助・固定</p> <p>4. 経口与薬</p> <p>1～4は、看護過程の展開を踏まえながら、小児のコミュニケーション・プレパレーションを学ぶ</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>小児の疾患と看護：MCメディカ出版</p> <p>小児の発達と看護：MCメディカ出版</p> <p>小児看護技術：MCメディカ出版</p>		

授業科目	小児看護学実習		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	3年次	1・2学期	
科目目標	小児各期の発達段階の特徴を理解し、対象の健康段階に応じた看護援助を実践する能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの身体面・精神面・社会面での成長・発達</li> <li>2. 子どもの成長・発達段階に合わせた日常生活援助</li> <li>3. 健康障害をもつ子どもの理解と、成長発達・個別性を考慮した健康段階・健康障害に応じた援助</li> <li>4. 健康障害をもつ子どもと家族の相互関係と家族への援助</li> <li>5. 小児を取り巻く医療、福祉の連携における継続看護</li> <li>6. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照（保育園又は保育所、病棟の2か所で実習を行う）		
評価の方法	評価表に基づいた評価		



## 専門分野Ⅱ（母性看護学）

授業科目	母性看護学概論		
教育方法	講義		
開講学期	2年次	1学期	
		単位・時間数	1単位 15時間
科目目標	1. 母性看護の概念や対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解する 2. 女性のライフステージ各期における看護の役割と意義について理解する		
授業内容	備考		
1. 母性看護の基盤となる概念 1) 母性とは(父性含む) 2) 母子関係と家族発達(家族関係の調整含む) 3) セクシュアリティ(人間の性) 4) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(ウエルネス志向) 5) 母性看護と倫理  2. 母子の健康生活と法律・制度 1) 母性看護の変遷 2) 母子保健統計の動向 3) 周産期医療のシステムと母子保健施策  3. 女性のライフステージ各期における看護(健康教育・保健指導含む) 1) 思春期女性の健康課題と看護 (1) 第二性徴 (2) 性意識・性行動の発達 (3) 月経異常 (4) 性感染症(STD) 2) 成熟期女性の健康課題と看護 (1) 家族計画 (2) 不妊症、不育症 (3) 女性生殖器の疾患 (4) 性暴力、DV 3) 更年期女性の健康課題と看護 (1) ホルモンの変化と閉経 (2) 更年期症状 4) 老年期女性の健康課題と看護 (1) 骨盤臓器脱 (2) 老人性陰炎、外陰炎	<関連科目> 疾病治療総論 社会学 成人看護学 小児看護学 解剖生理学		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	母性看護学概論：医学書院 国民衛生の動向		

授業科目	母性看護実践論 I		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次	1学期	
科目目標	周産期の看護を実践するために必要な知識を身につける		
	授業内容	備考	
	<p>1. 妊娠期における看護</p> <p>1) 妊娠期の身体的特性</p> <p>2) 妊娠期の心理・社会的特性</p> <p>3) 妊婦と胎児のアセスメント</p> <p>4) 妊婦と家族の看護</p> <p>2. 分娩期における看護</p> <p>1) 分娩の要素</p> <p>2) 分娩の経過</p> <p>3) 産婦・胎児, 家族のアセスメント</p> <p>4) 産婦と家族の看護</p> <p>5) 分娩期の看護の実際</p> <p>3. 産褥期における看護</p> <p>1) 産褥経過</p> <p>2) 褥婦のアセスメント</p> <p>3) 褥婦と家族の看護</p> <p>4. 新生児期における看護</p> <p>1) 新生児の生理</p> <p>2) 新生児のアセスメント</p> <p>3) 新生児の看護</p> <p>5. 出生前診断</p>	<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療総論</p> <p>小児看護学</p> <p>&lt;技術演習項目&gt;</p> <p>1. 妊婦体験</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>母性看護学概論：医学書院</p> <p>母性看護学各論：医学書院</p> <p>小児看護学概論：医学書院</p> <p>母性看護過程：医学書院</p>		



授業科目	母性看護学演習		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 2学期		
科目目標	母性看護の対象と看護援助の特徴をふまえた観察や看護技術・思考過程を身につける		
授業内容		備考	
<p>1. 母性看護に必要な看護技術</p> <p>1) 妊産婦の看護</p> <p>(1) 子宮底長・腹囲測定</p> <p>(2) レオポルド触診法</p> <p>(3) 胎児心音聴取</p> <p>2) 褥婦の看護</p> <p>(1) 子宮底の触診</p> <p>(2) 子宮底の輪状マッサージ</p> <p>(3) 乳頭・乳房の観察・触診</p> <p>(4) 乳頭・乳房マッサージ</p> <p>2. 母性看護における看護過程</p> <p>1) 正常な周産期・新生児の事例展開（保健指導案含む）</p> <p>(1) 抱き方</p> <p>(2) 哺乳・調乳・排気の仕方</p> <p>(3) 衣服の着脱・おむつ交換</p> <p>(4) 沐浴</p> <p>(5) 臍処置</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>小児看護学 成人看護学</p> <p>&lt;技術演習項目&gt;</p> <p>1. 子宮底長・腹 囲測定</p> <p>2. レオポルド触 診法</p> <p>3. 胎児心音聴取</p> <p>4. 子宮復古の観 察・輪状マッ サージ</p> <p>5. 沐浴（抱き方 衣服の着脱・ オムツ交換・ 臍処置含む）</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>母性看護学概論：医学書院</p> <p>母性看護学各論：医学書院</p> <p>母性看護過程：医学書院</p>		

授業科目	母性看護学実習		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	3年次	1・2学期	
科目目標	周産期にある対象および新生児の特徴を理解し、対象に応じた看護が実践できる能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠経過、妊婦およびその家族への援助・保健指導</li> <li>2. 分娩経過、産婦およびその家族への援助</li> <li>3. 産褥経過に応じ褥婦のセルフケア能力を高めるための援助</li> <li>4. 新生児の生理的变化、対象の状態に応じた看護</li> <li>5. 周産期における社会的支援および継続看護</li> <li>6. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		

## 専門分野Ⅱ（精神看護学）

授業科目	精神看護学概論		
教育方法 開講学期	講義 2年次	1学期	単位・時間数 1単位 30時間
科目目標	1. こころの構造と働きおよびその発達過程を理解し、健康なこころ作りと維持に向けた生活の在り方について理解する。 2. 精神看護の目的、対象、看護の役割と機能について理解する。		
授業内容			備考
1. 精神の健康 1) 精神の健康 2) 心の健康に対する普及啓発 3) 精神の機能と構造 4) 発達段階と精神の健康 2. 精神看護の対象理解 1) 生物学的側面、心理学的側面、社会的側面 (1) 免疫機能とサーカディアンリズム      (2) 自律神経失調 2) リエゾン精神看護 (1) 心身相関と健康      (2) 身体疾患を持つ人の精神の健康 (3) 精神疾患を持つ人の身体の健康 (4) 患者と家族の精神の健康 (5) 看護職員の精神の健康 (6) 患者、家族、保健医療福祉の専門間の連携促進 3) 対人関係の看護論 4) ICF 3. 安全な治療環境の提供と人権擁護 1) 患者の権利擁護 (1) 処遇      (2) 隔離、身体拘束      (3) 精神医療審査会 2) リスクマネジメント 4. 精神領域における保健・医療・福祉の動向 1) 精神保健医療福祉の歴史と看護 2) 精神保健福祉の法制度 5. 精神障害者の看護の特徴 1) リハビリテーション (1) 社会復帰・社会参加の基本      (2) 保健医療に関する資源と調整 (3) 福祉に関する資源と調整      (4) 人的資源の活用と調整 2) 生きる力と強さに着目した援助 (1) ストレングス      (2) リカバリ (3) エンパワメント      (4) レジリエンス 6. 災害時における地域精神保健医療活動 1) 災害時の精神保健医療活動 2) 災害時の精神保健初期対応 3) 災害時の精神障がい者への治療継続への援助			<関連科目> 心理学 人間関係論 社会学 教育学 社会福祉 公衆衛生学
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	精神看護の基礎：医学書院 精神看護の展開：医学書院		

授業科目	精神看護実践論 I		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	2年次	1学期	
科目目標	こころの健康を保持・増進するための援助について理解する。		
	授業内容	備考	
	<p>1. 対人関係と自己活用</p> <p>1) 臨床における自己理解、他者理解</p> <p>2) リフレクションとしてのプロセスレコード</p> <p>3) ストレス対処</p> <p>4) リラクゼーション</p> <p>2. 集団における心のはたらき</p> <p>1) 集団力動</p> <p>2) 家庭、地域、学校、職場における関係性</p>	<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>心理学</p> <p>人間関係論</p> <p>教育学</p> <p>成人看護学概論</p> <p>老年看護学概論</p> <p>小児看護学概論</p> <p>母性看護学概論</p> <p>在宅看護学概論</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>精神看護の基礎：医学書院</p> <p>精神看護の展開：医学書院</p>		





授業科目	精神看護学演習		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 2学期		
科目目標	精神看護の実践に共通する看護観察や看護技術、思考過程を身につける		
授業内容		備考	
<p>1. 対人関係と自己活用</p> <p>1) 治療的コミュニケーション</p> <p>2) ロールプレイングによる効果的な介入方法の体験</p> <p>2. 患者体験</p> <p>1) 幻覚体験</p> <p>3. 精神看護における対象の理解</p> <p>1) 面接技法（支持的面接）</p> <p>2) 観察技法</p> <p>3) セルフケア能力</p> <p>4) 対象を取り巻く支援者</p> <p>4. セルフケア看護アプローチを用いた精神疾患患者の看護展開</p> <p>1) 統合失調症患者の看護過程の展開（急性・慢性期）</p> <p>(1) 幻覚・妄想のある患者</p> <p>(2) 退院支援</p> <p>(3) 支持的面接の実際</p>		<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>心理学</p> <p>人間関係論</p> <p>社会学</p> <p>教育学</p> <p>社会福祉</p> <p>公衆衛生学</p> <p>成人看護学</p> <p>老年看護学</p> <p>在宅看護論</p> <p>&lt;技術演習項目&gt;</p> <p>1. プロセスレコードによるリフレクション</p> <p>2. 支持的面接</p> <p>3. 患者体験</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	精神看護の基礎：医学書院 精神看護の展開：医学書院		

授業科目	精神看護学実習		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	3年次	1・2学期	
科目目標	精神に障害をもつ対象の理解および、精神医療における看護の役割、機能の理解を深め、対象に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神に障がいを持つ対象の生きにくさ</li> <li>2. 精神に障がいを持つ対象に応じた援助</li> <li>3. 社会参加に向けた看護の役割と機能</li> <li>4. 看護者として必要な責任ある行動と態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		

# 統合分野



授業科目	在宅看護実践論 I		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 2学期		
科目目標	在宅療養生活を支えるしくみと在宅における日常生活援助技術を理解する。		
授業内容		備考	
1. 訪問看護の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 訪問看護制度の理解</li> <li>2) 訪問看護制度の法的枠組み</li> <li>3) 訪問看護サービスの仕組みと提供</li> </ul> 2. 生活を支える在宅看護技術（介護用品の工夫） <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 食事・栄養の援助</li> <li>2) 排泄の援助</li> <li>3) 清潔の援助</li> <li>4) 移動の援助</li> </ul> 3. 在宅療養者の状態・状況に合わせた看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 日常生活活動の低下予防および疾病の再発予防が必要な療養者</li> <li>2) 急性期及び回復過程にある療養者</li> <li>3) 慢性期にある療養者（難病、認知症）</li> <li>4) 終末期にある療養者</li> </ul>		<関連科目> 基礎看護学 成人看護学 老年看護学	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	在宅療養を支えるケア 在宅看護論①：MCメディカ出版 在宅療養を支える技術 在宅看護論②：MCメディカ出版		

授業科目	在宅看護実践論Ⅱ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次	2学期	
科目目標	在宅における医療管理を必要とする療養者、家族への看護を理解する。		
	授業内容	備考	
	<p>1. 在宅における医療管理を必要とする人への看護</p> <p>1) 薬物療法</p> <p>2) 酸素療法</p> <p>3) 人工呼吸療法（非侵襲的換気療法）</p> <p>4) 膀胱留置カテーテル</p> <p>5) 胃瘻・経管栄養法</p> <p>6) 中心静脈栄養法</p> <p>7) 褥瘡管理</p> <p>2. 医療依存度の高い在宅療養者への看護</p> <p>1) 重症筋無力症</p> <p>（1）療養者・家族のセルフマネジメント力を高める支援</p> <p>（2）急性増悪の早期発見と対応</p> <p>（3）社会資源の活用・調整</p> <p>2) ギラン・バレー症候群</p> <p>（1）療養者・家族のセルフマネジメント力を高める支援</p> <p>（2）急性増悪の早期発見と対応</p> <p>（3）社会資源の活用・調整</p> <p>3) 筋萎縮性側索硬化症（ALS）</p> <p>（1）療養者・家族のセルフマネジメント力を高める支援</p> <p>（2）急性増悪の早期発見と対応</p> <p>（3）社会資源の活用・調整</p>	<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>保健医療論</p> <p>社会福祉</p> <p>基礎看護学</p> <p>成人看護学</p> <p>老年看護学</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>在宅療養を支えるケア 在宅看護論①：MCメディカ出版</p> <p>在宅療養を支える技術 在宅看護論②：MCメディカ出版</p>		

授業科目	在宅看護論演習		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 2学期		
科目目標	在宅療養者、家族に応じた看護実践を行うための思考過程、看護技術を身につける。		
	授業内容	備考	
	<p>1. 在宅療養者の状態に応じた援助の実際</p> <p>1) 在宅看護における看護過程の展開</p> <p>(1) 成人期にある筋萎縮性側索硬化症で在宅人工呼吸器を装着した療養者・家族</p> <p>①在宅経管栄養法の看護</p> <p>②在宅人工呼吸器装着の看護</p> <p>③療養者とその家族への指導</p> <p>④社会資源の活用</p> <p>⑤在宅寝たきりの療養者に対する日常生活援助</p> <p>⑥訪問時のマナー</p> <p>2. 在宅療養者が暮らす地域の実際</p> <p>1) 地域のしくみを知る</p> <p>(1) インフォーマルな社会資源（互助活動：自治会・民生委員等）</p> <p>(2) フォーマルな社会資源（共助・公助活動）</p>	<p>&lt;関連科目&gt;</p> <p>基礎看護学 成人看護学 老年看護学</p> <p>&lt;技術演習項目&gt;</p> <p>1. 鼻腔胃管カテーテル挿入</p> <p>2. 在宅看護技術</p> <p>看護過程を展開しながら演習を行う</p> <p>社会資源は実際の活動を聞き取りする</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	<p>在宅療養を支えるケア：MCメディカ出版</p> <p>在宅療養を支える技術：MCメディカ出版</p>		

授業科目	在宅看護論実習		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	3年次	1・2学期	
科目目標	地域で生活する対象とその家族を理解し、健康維持、疾病の予防に向けて援助が実践できる能力を養う。		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で生活する対象とその家族の生活</li> <li>2. 在宅療養者と家族の生活の特性を踏まえた基本的な援助</li> <li>3. 地域で生活する対象とその家族を支える地域包括ケアシステムと看護の役割</li> <li>4. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価方法	評価表に基づいた評価		



## 統合分野（看護の統合と実践）

授業科目	看護の統合と実践Ⅰ			
教育方法	講義		単位・時間数	2単位 30時間
開講学期	3年次	1学期		
科目目標	1. 病院及び看護部門の組織、看護管理の本質を理解するとともに、管理的視点で看護活動を理解できる。 2. 看護研究の必要性を理解するとともに、看護実践の中での問題を科学的に追究できる姿勢を養う。			
	授業内容			備考
	1. 看護管理 1) 看護管理の基礎 (1) 看護管理の概念 (2) 看護組織と職務 (3) 看護管理部門の役割 ①人材育成・活用（継続教育、キャリア開発） ②業務管理 (4) 各看護単位での看護管理 (5) チーム医療  2) 看護を取り巻く諸制度 3) 医療・看護の質保証 (1) 病院機能評価 (2) 診療報酬制度 (3) 重症度、医療・看護必要度  2. 国際看護 1) 看護のグローバル化 2) 国際看護学とは 3) 多様な文化と看護 4) 看護の国際協力活動  3. 看護研究 1) 看護研究とは 2) 看護研究の必要性 3) 研究デザイン 4) 文献検索 5) 研究の進め方 6) ケーススタディの実践			
評価の方法	筆記およびレポート、ケーススタディ等			
テキスト	看護管理 看護研究 看護制度：メヂカルフレンド社 看護実践マネジメント／医療安全：メヂカルフレンド社 看護学生のためのケーススタディ：メヂカルフレンド社			



授業科目	看護の統合と実践Ⅲ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	2年次 2学期		
科目目標	災害医療の基礎的知識を理解し、災害サイクルに応じた看護師の役割を理解できる。		
	授業内容		備考
	1. 災害医療の基礎知識 2. 災害看護の基礎知識 3. 災害サイクルに応じた活動現場別の看護 1) 発災直後から超急性期までの看護 2) 急性期の看護 3) 亜急性期の看護 4. 被災者特性に応じた災害看護の展開 5. 災害とこころのケア 6. 災害時要援助者への支援 7. 災害看護 1) トリアージ 2) 応急処置の原則 3) 搬送・移送 4) こころのケア		
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	災害看護学：メヂカルフレンド社		

授業科目	看護の統合と実践Ⅳ		
教育方法	講義 ・ 演習	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	3年次 1学期		
科目目標	複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を養う		
授業内容		備考	
<p>1. 看護の継続性</p> <p>1) 施設内における継続看護</p> <p>2) 施設間継続看護</p> <p>3) 施設と在宅間での継続</p> <p>4) 病棟内における経時的変化に対する継続看護</p> <p>(1) 看護の優先度の決定</p> <p>(2) 多重課題</p> <p>(3) 時間配分</p> <p>(4) 患者への説明・同意</p> <p>(5) 他のメンバーへの依頼</p> <p>(6) 多職種との連携</p> <p>5) 情報のマネジメント（個人情報保護と管理）</p> <p>2. 看護倫理</p> <p>1) 看護職員の役割</p> <p>2) 看護の倫理綱領</p> <p>3) 倫理的葛藤と倫理調整</p> <p>4) 倫理的問題への対応</p>		<p>&lt;技術演習項目&gt;</p> <p>1. 臨床の場面を設定した状況に応じた演習</p> <p>2. 倫理事例分析</p>	
評価の方法	筆記およびレポート等		
テキスト	看護実践マネジメント／医療安全：メジカルフレンド社 よくわかる看護者の倫理綱領：照林社 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術：医学書院		

授業科目	看護統合実習		
教育方法	実習	単位・時間数	2単位 90時間
開講学期	3年次	2学期	
科目目標	病棟管理の実際を学び、チームの一員として看護を実施し、看護専門職としての役割を理解し自覚と責任感を養う		
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護単位における看護</li> <li>2. 継続した看護を行うための看護活動</li> <li>3. 多職種との連携</li> <li>4. 病棟における継続した看護</li> <li>5. 複数の対象への看護援助</li> <li>6. 看護者として必要な責任ある行動や態度</li> </ol>			
実習場所	実習要項参照		
評価の方法	評価表に基づいた評価		